

第36期(第6回)社会教育委員会議 次第

日時：令和4年8月2日(火) 9:30～

場所：神戸市総合教育センター701会議室

1. 開 会

2. 議事・報告事項

- (1) 第36期第5回会議議事録(要旨)の確認について
- (2) 令和4年度社会教育関係団体への補助金交付について
- (3) 令和4年度各社会教育事業に関する計画・事業報告
- (4) 学校づくりの指針について
- (5) その他

3. 閉 会

学ぶ・活かす・つながる
～そして、明日の神戸～



生涯学習のマスコット
「マナビィ」

第36期(第5回)神戸市社会教育委員会議事録(要旨)

1. 日 時：令和4年3月15日(火) 10:00～11:30
2. 場 所：神戸市総合教育センター7階 会議室701号室
3. 出席者：(1) 社会教育委員8名(井上委員・森田委員欠席)
(2) 事務局 東課長(教育委員会事務局総務課)、
前田課長(埋蔵文化財センター)、赤澤課長(スポーツ企画課)、
村井担当課長(中央図書館) 他

4. 議事・報告事項：

(1) 第36期第4回会議議事録(要旨)の確認について

(事務局) 資料1により、前回の会議議事録(要旨)について説明。

(議 長) 質問・意見はあるか。

(委 員) 特に質問、意見なし

(2) 令和3年度事業報告

①文化スポーツ局文化財課事業報告について

(事務局) 資料2により、「令和3年度の下半期事業報告」について説明、及びボランティアに関する質問に対する説明。

(議 長) ご質問、ご意見はあるか。

(委 員) 特に質問、意見なし

(議 長) 埋蔵文化財センターは西神にあるということだが、来館者の地域別の傾向はあるか。

(事務局) 学校団体の利用は地下鉄沿線が多い。JRからは減少傾向。垂水区からは交通ルートが厳しく少ない傾向にある。

(議 長) ボランティアも同様か。

(事務局) ボランティアは西神ニュータウンの方が多い傾向であるが、様々なところから来ていただいている。

(議 長) コロナ禍前の来館者数ほどの程度か。

(事務局) 年間で35,000人前後の来館があった。新型コロナウイルスの影響により、団体見学者が減少しているため、今年の年間では、24,000～25,000人程になる見込み。

(議 長) 他に質問・意見はあるか。

(委 員) 特に質問・意見なし

②博物館学芸課事業報告について

(事務局) 博物館所管課である文化スポーツ局博物館学芸課が他業務により欠席のため、資料3により報告。

(議 長) ご質問、意見はあるか。

(委 員) 特に質問、意見なし

(議 長) 欧米の博物館等では体験コーナーやワークショップが非常に盛んであり、子どもや親子連れが難解なテーマに取り組んでいる。今後、どのように情報発信をしていくのか伺いたい。

- (委員) 美術館では対応型美術鑑賞を行っており、ワークショップ形式のイベントを実施していたように記憶している。先生が生徒と一緒に参加していたのではないかな。
- (議長) 昨今、社会教育施設と教育現場（学校や大学など）が連携して、プログラムを作っていく取組が盛んになっている。中央教育審議会の言葉をそのまま借りると、「社会に開かれた教育課程（カリキュラム）」である。
つまり、社会教育あるいは社会教育施設の職員、学校の先生方等が議論し、プログラムやカリキュラムを作っていけないか、ということが提案されている。
実現に向けては課題があるが、社会教育施設などで、こういう企画や話が可能だという斬新なアイデアを学校教育の現場に投げかけ、学校側が検討できるようになれば良いと考える。
- (委員) 学校現場に小磯記念美術館から学芸員の方が来て、図工の時間に絵画を見て授業をするというものがあるが、図工専科と美術館職員という個人的なつながりがもたれているのではないかな。例えば、小磯記念美術館にはどれぐらいの学校がどのような頻度で授業に行っているのか、そのつながりはどのように形成されているのか聞いてみたい。
- (議長) 社会教育施設の誰が、どのような活動や働きかけを行っているのか、それによりどういった成果が出ているのか、これからの社会教育施設の活動について検討する際、整理していく必要がある。

(3) 公民館利用者アンケートについて

- (事務局) 資料3により、「公民館利用者アンケート」について説明。
- (議長) 質問、意見はあるか。
- (委員) 葦合公民館について、令和2年度から令和3年度にかけて、10代の利用が非常に多くなった理由を伺いたい。
- (事務局) 葦合公民館の隣にグラウンドがあり、10代がグラウンドを利用した後に公民館で学習活動をしていることが、主な理由と考えている。
- (委員) 講座の認知度が非常に高いが、新規登録かリピーターかの割合は分かるのか。ずっと同じ人が使っているのか、毎年ある程度新規の方がいるのか。新規の利用者がどんどん広がっているのであれば良い傾向である。
また、貸室の利用者が30代から50代が多い理由は何か。
- (事務局) 講座の認知度については、新規の方は少なく、リピーターが多い。貸室の利用者について、30代から50代が多い理由としては、スポーツ関係の利用が多いためである。
- (議長) いつ頃からこの公民館を利用するようになったのかについても伺いたい。例えば、今年初めて利用する人と、以前から何らかのきっかけで公民館活動をするようになった人たちがいると思う。
どれぐらいの新陳代謝がある公民館なのか、公民館によって異なるだろうが、公民館側の活動によって変化する場合と、新しい住宅の建設や世代交代などの地域要因によって変化する場合とがある。その公民館を利用する人たちが、どのような人たちかを丁寧に調べていくということも、今後、必要となるかもしれない。
細かい点でいうと、30代、40代、50代と、世代によってニーズの違いがあるのかない

のか、より丁寧なデータがあればと思う。

(議 長) 新型コロナウイルスへの対策はどのようなものがあったか。

(事務局) 感染防止対策しながら活動に取り組んできたほか、閉館や夜間の使用を中止した時期もあった。

(議 長) ウイズコロナの時代にあっては、対策をしつつも、人と人がつながり活動をしていくことが重要。フリーラーニングスペースを地域に作っていくことは大切であり、その先陣を切るようなポジションとして公民館があれば良い。そのためにも、今後も引き続きデータを取って行って欲しい。

(委 員) 葦合公民館は利用者の年齢層が高い印象。コープこうべもカルチャーを持っているが、同様に高齢化している。若い世代を取り込まないと継続が困難なため、何らかの手立てが必要。

また、こうした状況だと、若い世代が入りたいと思っても、実際に行ってみたらベテランの方が活動していて入りにくいと感じてしまうこともある。若い世代が入るには、既存の講座よりも、若い世代向けの新たな講座を作った方が入りやすいかもしれない。この辺りについてどう考えているか。

(事務局) 公民館は、実際に高齢者の方の利用が多い。しかし公民館の1つの柱として青少年健全育成というものもあり、若年層向けの事業として、夏休みには力を入れてサマースクールを行っている。また、日本銀行などに協力いただき、学習講座を実施している。一方、勤労世代の方に来ていただくような講座は十分に組み合わせていない。今後検討していきたい。

(議 長) SDGs では、最初の1番目は貧困や経済の問題に対する取組、2番目が食の問題、3番目は、健康や福祉についての取組である。これらに加えて、スポーツや歌・踊り、アートといった部分を前に出していくと、住民の人たちが集まってくるのではないかと思う。スポーツやアートといったものを軸にし、どうすればSDGsの課題に触れていくことができるのかという仕掛けが重要。

(事務局) SDGs については、講演会や講座などで取り組んでおり、令和3年度も春に「SDGsは何だろう」という講座を実施した。秋には下水道や間伐材など、取っ掛かりとなるテーマで講座を開催している。また、チラシを制作し、SDGsと直接関係ない講座でもSDGsのチラシを配布し周知する取組を進めているところ。

(議 長) 次回のアンケートでは、「SDGsを知っているか」といったことも聞いてみてほしい。ESD推進では、公民館がその中心施設ということになっていた。公民館に来れば、新たな公共的なテーマに触れることができるといった形となれば良い。

(委 員) 公民館のホームページを見ると、施設ごとにフォーマットが違う。若い世代の人に使ってもらえるのであれば、スマホで検索したときに見やすいページへ変えることは重要であり、今後も推し進めてほしい。

(議 長) 葦合公民館において10代の利用が多い件については、物理的・地理的な距離を縮めていく工夫が求められているという事例かと思う。

少し離れた公民館と学校、あるいはグラウンド・運動場といったものを、人が演出しつなぐこともあるし、プログラムが演出する場合もある。

東日本大震災の被災地では、高台に移転するにあたって、公民館や学校、保育園が全

部一緒になった。そうすると、人々が交ざりやすくなる。地理的に離れているものをどうつなげていくのかという工夫をしないと、なかなか暮合のような機能は生まれてこない。その辺りの工夫について社会教育委員としても考えていきたい。

(委員) オンラインの活用も方法の一つだと思う。

(事務局) パソコン講座では、LINEの使い方を教えていたりする。公民館でも、スマホの使い方といったことには取り組んでいる。

(委員) コープこうべの中で非常に人気のある取組の一つに、高校生が高齢者にスマホの使い方を教えるというものがある。これは高校生にも高齢者にもとても喜ばれている。逆に、高齢者の生活の知恵などを幼稚園や小学校で教えるような、学びをつなぐデザインのようなことができると、機能という点では広がりが出てくる。

(議長) 例えば埋蔵文化財センターと公民館が連携し、博物館ボランティアの人や、公民館で講座を受けてきた地域の方が一緒になって、何かプログラムを作り、神戸市や社会教育関係団体が支援するなど、そういったことができないかと思う。これからの公民館について、住民の人たちと一緒に考えている場があると良い。

(委員) 神戸の公民館は地域の若い世代が使える公民館にするのだというコンセプトを持つのであれば、子どもが子ども自身でデザインできるようなプログラムを実施すべきである。居場所の定義としては、空間づくりと、そこにいる社会教育主事が青少年とどう向き合うのかということとをマッチングすることで、若い世代が入りやすくなる。

高齢者と若い世代が一緒になることによって、互いに元気になるような居場所ができたら面白い。

(議長) 他にご質問、ご意見はあるか。

(委員) 特になし

(4) 子どもに対する社会教育の取組について

(事務局) これまでに委員のご意見から、「つながり」というキーワードが出てきた。子どもに対する社会教育の取組を広げていく際に、学校、保護者、地域、公的施設等様々な関係機関がつながるための議論を、引き続き行いたい。

(議長) 一口で「高齢者」「子ども」といってもいろいろあって、あるテーマについて関心を持っている集団もあれば、そのテーマに全く関心を持ってない集団もあり、非常に多様である。こうしたことを踏まえた上で、どのように交流していくのかということを考えてい。「つながり」というものを抽象的に考えるのではなく、具体的に、どこで・誰が・どう企画するのかという点をしっかりと考えないといけない。

(委員) 公民館という場所があることは非常にありがたいこと。青少年課等が主になって子どもの居場所づくりをしようとする、担い手を希望される方は多くても、場所には非常に困るという状況がある。

学校連携のところをいうと、保育所の問題は一区切りついたのだが、依然として学童の超過問題がある。夜間の利用が可能であれば、公民館を学習支援の場所として提供していただくこともできる。

今回の公民館アンケートで、学習還元をしたいというのは、学んだことを教えたいと

ということかと思う。日常の学習支援のグループと講座を受講されている方で、何か教えるといったことを連携させていくと、学習支援につながるのではないか。

(議長) 多様な施設、多様な取組をつなぎ合わせることで、関係している人たちの学びが生まれてくる。それを実現するためには、一般的にヒト・カネ・モノがいるが、一番問題なのはヒトだと思う。

(委員) 神戸市の事業で、様々な子どもの居場所づくりに関する啓発事業をした際、担い手になりたいという方は各地区で見つかった。その方々と一緒に企画をすれば、スタートは大丈夫ではないかと思う。

(議長) 子ども食堂などを実践する組織において、その組織にボランティア等を活用し、プラスアルファの動きを広げていくという方法論はあり得るだろう。NPOなどが中心となり、新しい学びを広げていくというパターンである。

全国的にはそういったケースがあるが、中央教育審議会の答申レベルでは、あまりNPOを前に出していない。どちらかという地域につながりがあり、子どもたちをずっと見ていこうとしている方で、ふるさとを愛してくれるような子どもたちを育てたいというような方が、事例になっていることが多い。

神戸においても、もちろんその考え方はあるが、神戸の特徴は、阪神淡路大震災以降、様々なNPO、任意団体、ボランティア団体が生まれ、こうした団体とこれまでの経済開発を担ってきた人たちがミックスされて街ができようとしている。この強みをどんどん生かしていく必要がある。

(事務局) 教育委員会において、学校施設をより活用できないかという議論を始めている。

また、コミュニティ・スクールを推進しており、保護者や地域住民のご意見を学校運営に活かす学校運営協議会を、令和4年度中にすべての小・中学校、義務教育学校に設置する方向で取り組んでいる。

まずは、学校の課題について、地域の皆様、保護者の皆様、学校が一緒になって、どのように解決していくかということからスタートする。将来的には、地域ぐるみでどのように子どもの社会教育に取り組むのか、子どもをどう育てていくのかというようなことを、議論する場・実践する場としていきたいと考えている。

(議長) コミュニティ・スクールは、学校を開かれたものにしていこうとする取組である。地域学校協働活動は、社会教育法の中に明記されており、地域において学校と協働して行う活動ということ。これとコミュニティ・スクールが合体するとより良いという考え方である。

(委員) この年末年始に、私の住む地域の方から学校の先生に相談をした。この地域は4校が統合したため、それぞれの地域については互いによく知らない状況。各地域の保護者も知りたいし、子どもの様子も知りたいということで、安全マップづくりを行おうということになった。

学校も賛同してくれて、先生が大きな地図を作り、地域住民もリモートで参加し、各教室の子どもたちと、保護者・地域同士が一緒になって制作した。

子どもたちが危険と感じているところと、保護者や地域住民が認識している危険な場所とは全く違うということがよく分かり、有意義な取組であった。

この経験から、やはり学校と地域の交流というのは非常に重要であると感じたが、学

校側から「これをしてください」ということは難しいため、地域から学校に提案していかねばいけないだろう。

行事でなくとも学習の中に地域が入り、共に学ぶということは貴重な経験だと思う。コロナ禍で、かえってこうした学校と地域の関わりの新たな方法が開拓された事例だと考えている。

(委員) 子どもの居場所づくりというところで、私も子ども食堂のボランティアに参画しており、高齢者と子どもをつなげる活動は非常に活発に行われているが、問題は真ん中の世代である。

コミュニティ・スクールでも、PTAや自治会など様々な組織があるところは、年齢層の違いがあり、その壁をどう払しょくするかが一番の課題である。横断歩道の旗振りも高齢者の方がしているが、それは共働きの保護者が多いことによる。どうしても、その年齢の溝を緩和したいというところはあると思う。

(議長) その溝を埋めるため、あるいは溝を渡ってお互いにつながるためには、どういう仕掛けが必要なのかということも大事なポイントである。

また、受験学力と学校で求めている読み書きそろばんを含めた能力を「認知能力」という言い方をするが、例えば全体のムードを理解する力や、自分がやろうとすることがどのように周りから見られるかを第三者的に見る力といった「非認知能力」も非常に大事である。

学校教育においてはどうしても認知能力の育成が中心になってしまうが、この辺りの矛盾を理解した上で、どのようなプログラムにしたら良いかということを考えないといけない。

何を作って、何をやめるのかというスクラップ・アンド・ビルドの部分が曖昧になると学校の先生は多忙になる。これは地域の人も同様である。新しい事業をする余裕を、地域の人、NPO、学校も、感じるような方法は何かないものか。

(委員) これからの学習においては、読み書きそろばんというよりも、例えば安全マップを作り上げる中で様々な人の話を聞き、自分で足を運び、様々なことを調べるといったところから総合的な力をつける、というようなことが重要になる。

しかし、今ある仕事の上にこうした取組をプラスすると大変なので、今あるところの本質の部分をつなげていけるような話ができれば良い。学校にはカリキュラムがあるので、子どもたちのニーズに合わせてコラボしていくことが大切である。

もう一つ、神戸市は広く、地域によっても状況が全く異なる。それぞれの地域のニーズと、それぞれの課題も多様である。学校と一緒に何かやりたいと思っておられる方もおられるし、つながり合える方とつなぐ存在を強くしていく必要がある。

(議長) これまで、保護者やPTAを介してというのが最も勝手が良かったが、昨今、30代～40代の保護者の参加が難しく、そこをターゲットにしてしまうと、社会に開かれたカリキュラムを作ることができない。

自分の子どもが学校を卒業した後でも学校と関わりたいという場合、その人たちが地域とつながっていたら、人を呼んで何かやろうというアイデアも出てくる。そのような人たちがいれば、つなぎ役となって、互いに活性化する可能性が出てくると思う。

(委員) 若い保護者がそうした人を見て、壁を取っ払うのも一つかと思う。

(議 長) 地域の人たちも子どもを育てたいという気持ちはあり、子どもを介することで、人がつながっていく。子どもという存在は、人をつないでいく力があるというところを生かすことができれば、学校においても良い学びが生まれてくるし、地域の人たちがつながる可能性もある。

社会教育においては、子どもとつながりがない人たちも一堂に会することができるテーマ型の学習活動やコミュニティができるような仕組みが必要である。その中から何人か中間の層みたいなところが入ってくれば、地域と学校の共存がスムーズに進む地盤ができると思う。この地盤づくりを進めていく必要がある。

(委 員) 防災は、すべての人をつなぐテーマであるため、安全マップづくりは良いアイデアである。高齢者も多様だし子どもも多様だが、防災というテーマから逃れられる人は一人もいない。

小学4年生のカリキュラムにも入っているということであれば、例えば、防災・安全マップづくりというを通して学校と地域がつながりマップができ上がる。

そのマップを、学校と関係ない人にも校区内で配ってみる。地域とのつながりで、こういった成果物ができたという経験を、子どもたちも得ることができ、学びとなる。

こうしたことを成功例として、他のテーマにも応用していければよい。

(議 長) 人と人がつながるときに、どういうテーマであればよりつながりやすいかということをもっと見つけられれば、様々なコラボ活動がしやすくなる。

(委 員) NPO法人において、子どもたちが自分たちの地域を知るためにまち歩きをするというイベントを行っている。その中で、子どもたちがまちの人にインタビューをすると、結構大人はしっかり答えてくれる。こうしたフィールド学習を通じ、子どもたちは経験を獲得できる。

(議 長) 方法論でいうと、地域ごとに自分たちのオリジナルなものを作るべき。もう一つは「市民性教育」という言葉だと思う。市民性教育となると、例えば自分たちのまちの課題が分かったときに、大人たちはそれを市にどうやって上げているのか、どういうルートで自分たちのまちを良くしようとしているのかというのを、子どもたちにも見える形にすること。

これを、コミュニティ・スクールあるいは地域学校協働活動を通して、そしてそれを支える社会教育としてできたらいいと考えている。さらに、それを考える場が公民館であればよいと思う。

(委 員) 議長が多様性を踏まえて、ターゲットを明確にした方がよいとおっしゃったが、日本語を第一言語としない子どもたちとその保護者は、かなり孤立感を持っているのではないか。

地域でそういった子どもたちを支えてあげてほしい。そういった子どもたちも念頭に置きながら、今回の議論を今後発展させていければと思う。

(議 長) 文化共生や多文化主義は、地域においては元々課題であったが、学校においても問題となることがある。実務レベルの人たちがこういう話をして、具体的なプログラムにつながると良い。

【以上】

令和 4 年度 社会教育関係団体補助金交付について

(社会教育法第13条関連)

	神戸市 P T A 協議会	神戸市婦人団体協議会
会 員 数	約 4 0, 0 0 0 人	約 3 0, 0 0 0 人
補 助 金 予 算 額	3 0 0, 0 0 0 円	5 5 5, 0 0 0 円
神戸市社会教育関係団体補助金交付要綱第 2 条関係	実施事業	
(1) 図書、記録、視聴覚教育の資料等収集、作成または提供	・近畿ブロック P T A 研究大会神戸大会報告書	・神戸市婦人団体協議会活動報告書「1 年のあゆみ」
(2) 社会教育の普及、向上または奨励のための援助、助言	・会長・副会長研修 ・毎月の定例正副会長会 ・年間 4 回以上 理事会 ・全校種合同研修会	・会長研修会、区中堅幹部研修会 ・毎月の定例会、単位婦人会連絡会研修 ・婦人市政懇談会(市共催) ・神戸県政ミーティング(県共催) ・ふれまち事業 ・エコタウン活動(資源回収・広報)、美緑花ボランティア活動(公園内清掃・除草・灌水)の実施 ・トライやるウィークの受け入れ ・災害時要援護者への支援活動(見守り、声掛け、避難誘導、生活支援) ・婦人防災安全委員(消防局連携)
(3) 社会教育関係団体間の連絡調整	・日本 P T A 全国研究大会 ・近畿ブロック P T A 研究大会 ・指定都市 P T A 情報交換会	・女性教育施設職員のための研修、全国大会等への参加 (全国赤十字大会、(公財) 明るい選挙推進協会全国フォーラム他)
(4) 機関紙の発行、資料の作成配布による社会教育に関する宣伝啓発	・広報紙「P T A 神戸」の発行(年 3 回) ・ホームページの開設運営 ・「P T A 活動にあたっての参考資料」改訂版の作成	・機関紙「婦人神戸」の発行(月 1 回) ・ホームページ、フェイスブックの運営
(5) 体育、運動競技若しくはレクリエーションに関する催しの開催、参加	・文化事業「KOBE★ファミリーコンサート	・神戸まつり等への参加 ・民踊のつどい、民踊の夕べの開催 ・春の音楽祭の開催 ・ママさんバレーボール大会の開催(春・秋・こうべ長寿祭)
(6) 社会教育に関する研究調査	・専門委員会による討議・研究	・消費者問題、スポーツ、女性問題、地域防災、環境問題、手芸、美緑花、地域福祉、救急救命、情報の 10 テーマの調査研究及び技能取得、講座の実施(白バラ、消費者学級)
(7) その他社会教育の振興に寄与する公共的意義のある適切な事業	・「家庭教育の大切さを啓発する事業」 ①「ミニレター&フォト応募作品募集と展示」 ②「神戸市 P T A フェスティバル」	・ハミング広場(フラワーベース管理) ・市民花壇や清掃美化活動、資源回収 ・デイサービス(神戸市地域拠点型一般介護予防事業) ・ファミリーサービスクラブ(家事援助、外出・通院介助) ・ふれあい喫茶 ・給食・配食サービス ・子育て支援(保育園、幼稚園、児童館との交流) ・子ども支援活動(子ども食堂、居場所作り、学習支援(大学連携)) ・あいさつ運動 ・小・中学校への協力(昔遊び、登下校時の見守り等)

※上記の他に、神戸市教育委員会等から事業を受託し実施している。

婦人団体協議会：親子の学び教室、市立婦人会館指定管理業務、地域協働型文化育成事業、神戸婦人大学の運営 等

令和4年8月2日
 社会教育委員会議資料
 文化スポーツ局 文化財課

埋蔵文化財センターにおける公開活用事業について

(1) 埋蔵文化財センター

平成3年9月に開館。

市内の発掘調査等で出土した遺物の復元整理・修復・保管・展示・公開・調査研究、
 企画展示・体験考古学講座等の普及啓発活動を実施

(神戸市埋蔵文化財センター条例第3条)

年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
総入館者(人)	32,349	35,884	32,136	26,437	14,777	24,069

(令和4年3月31日)

※令和元年度は10月～12月を工事休館、3月3日～31日までを新型コロナ休館している。

※令和2年度は4月1日～5月25日まで新型コロナ休館し、11月10日～12月27日には設備改修工事に伴い休館した。

※令和3年度は4月25日～5月11日まで、新型コロナ対応のため休館した。

(2) 展示・講座・連携事業

①令和4年度の企画展など

- ・春季企画展『神戸でいちばん！ーくらべてみよう、遺構や遺物ー』

4月16日～6月26日 入館者 6,074人

- ・速報展示『こうべ発掘最前線～令和3年度の調査から～』

7月23日～8月28日

- ・秋季企画展『元素でたどる考古学』

9月23日～11月27日

- ・冬季企画展『神戸・うつりかわる町とくらし3～昭和ノスタルジー～』

1月14日～3月5日

②体験考古学講座や講演会等の開催 親子で体験考古学講座・歴史講演会など

- ・連続講座「こうべ考古学」 学芸員による考古学入門講座。

令和3年度 7回実施。

令和4年度 7回を予定。

- ・「体験！考古学講座」 土器作り、勾玉作り、銅鐸作り等のワークショップ

令和3年度 9回実施。(10回を予定。1回は大雨警報で中止。)

令和3年度 10回を予定。

③史跡等での公開活用事業

- ・「五色塚古墳まつり」の開催（垂水区との連携）

平成 26 年度から垂水区に所在する国指定史跡五色塚古墳にて実施。午前中は地元霞ヶ丘小学校児童が古代衣装を着て、各自の作った埴輪を持って古墳の周囲をパレード。午後は一般参加で鏡・土器・勾玉づくりなどの古代体験。

令和 3 年度 6 月 19 日（土） 中止

令和 4 年度 6 月 18 日（土） 1,100 人参加

- ・「おおとし山まつり」の開催（垂水区との連携）

市指定史跡大歳山遺跡において開催。地域行事として定着している。復元竪穴住居を公開し、土器・勾玉づくりなど、古代の生活や技術を体験。

令和 3 年度 11 月 3 日（水・祝） 665 人参加

令和 4 年度 11 月 3 日（木・祝） 開催予定

④館外出張展示・館外講座・館外講演会

令和 3 年度

- ・中央図書館 『五色塚古墳を知ろう！』 5 月 11 日（火）～6 月 4 日（金）
関連講演会 『国史跡・五色塚古墳のあゆみ』 10 月 29 日（金） 30 人参加
円筒埴輪をつくろう 10 月 30 日（土） 19 人参加
- ・東灘区文化センター 『住吉の遺跡展』 5 月 22 日（土）～6 月 7 日（月）
関連講演会「住吉の遺跡 水害で埋没した遺跡を中心として」
6 月 3 日（木） 55 人参加
- ・兵庫区文化センター 『鑄造体験 夏休み親子で作ろう銅鐸！！』
7 月 25 日（日） 16 人参加
- ・神戸学院大学図書館 『かわいい考古学』（大学の博物館実習の一環）
11 月 6 日（土）～11 月 27 日（土） 3,702 人

令和 4 年度

- ・東灘区文化センター 講演会「発掘された灘の酒蔵」
7 月 1 日（金） 31 人参加
- ・葺合公民館 サマースクール『宿題バッチリ！親子勾玉教室』
7 月 28 日（木）
- ・北須磨文化センター 「夏休み銅鐸づくり」
7 月 31 日（日）
- ・中央図書館 講演会「元素でたどる考古学ー古代を探る科学の目ー」
10 月 15 日（土）
- ・まちづくりスポット神戸 アケボノゾウ出張展示（講座「地球と地域を学ぶ」）
11 月 5 日（土）・6 日（日）
- ・神戸学院大学図書館 11 月実施予定（大学の博物館実習の一環）

4 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

● : 講座・イベント実施日
○ : 休館日

企画展開催日



ご利用案内

開館時間 午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 年間カレンダー参照

入館料 無料

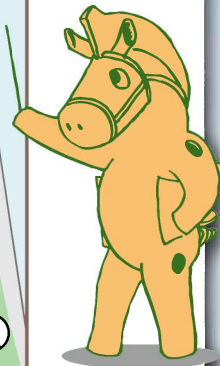
交通のご案内

市営地下鉄 三宮駅から西神中央駅まで約30分

バス 明石駅から西神中央駅まで約35分

※各線西神中央駅から徒歩8分

※駐車場はありません



神戸市埋蔵文化財センター

〒651-2273 神戸市西区糀台6丁目1 西神中央公園内
TEL:078-992-0656 FAX:078-992-5201

神戸市文化財課 公式 Twitter : @kobe_bunkazaika 公式 Facebook : @kobebunkazaika



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

神戸市埋蔵文化財センター

2022.4. - 2023.3.
イベントカレンダー



兵庫津遺跡から出土した土人形

●● 展示のご案内 ●●

企画展示

4月16日(土)～6月26日(日)

春季

神戸でいちばん！
—くらべてみよう、遺構や遺物—

9月23日(金/祝)～11月27日(日)

秋季

元素でたどる考古学

1月14日(土)～3月5日(日)

冬季

神戸・うつりかわる町とくらし3
～昭和ノスタルジー～

常設展示



よみがえる神戸の歴史

収蔵展示



出土資料を一堂に展示

整理作業を公開

発掘調査で出土した土器などを復元する作業が見学できます。



接合



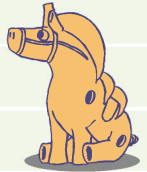
補強・修復



彩色

●● 連続講座「こうべ考古学」 ●●

第1回	令和4年7月23日(土) 「こうべ発掘最前線 ～令和3年度の調査から～」
第2回	令和4年9月23日(金/祝) 「発掘された東灘区の歴史」
第3回	令和4年10月22日(土) 「発掘された灘区の歴史」
第4回	令和4年11月26日(土) 「発掘された中央・兵庫区の歴史」
第5回	令和4年12月24日(土) 「発掘された北区の歴史」
第6回	令和5年1月21日(土) 「発掘された長田・須磨区の歴史」
第7回	令和5年2月25日(土) 「発掘された垂水・西区の歴史」



■ 開講時間 各回14:00～15:30 ■ 受付当日先着80名 ■ 参加費 無料
 ■ 学芸員による考古学講座 ■ 全7回参加者には修了証授与(各回スタンプ押印)
 ※ KOBE生涯学習パスポート「マナビイ単位認定制度」対象です。

●● 体験! 考古学講座 ●●

※ 小学校4年生以上対象 小学生は保護者同伴でご参加ください。
 ※ KOBE生涯学習パスポート「マナビイ単位認定制度」対象です。

開催日時	講座名	募集人数/費用	開催日時	講座名	募集人数/費用
7/16(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	勾玉をつくろう(1)	午前・午後各30名 1人300円	8/20(土) 〈10時～15時〉	古代の編み機をつくって コースターをつくろう	20名 1人500円
7/24(日) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	火おこし器をつくろう	午前・午後各30名 1人500円	8/27(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	勾玉をつくろう(2)	午前・午後各30名 1人300円
7/30(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	古代の鏡をつくろう	午前・午後各20名 1人500円	9/10(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	古代の染物をしよう	午前・午後各15名 1人500円
8/6(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	土器をつくろう	午前・午後各30名 1人300円	11/12(土) 〈10時～15時〉	茅葺職人さんと 竪穴住居を建てよう 共催:すまいるネット	20組 1組300円
8/11(木/祝) 〈10時～16時〉	銅鐸をつくろう	20名 1人1000円	1/28(土) 〈10時～15時〉	縄文土器をつくろう 作業1～形をつくる～	30名 2回合わせて 1人1000円
			3/4(土) 〈10時～15時〉	作業2～土器を焼く～	

体験! 考古学講座のお申込は…

参加をご希望の講座ごとに、往復はがき又はFAXに「講座名・参加者氏名・引率者氏名・年齢・住所・連絡先」をご記入の上、講座開催日の15日前必着でご応募ください。

※申込用紙は、埋蔵文化財センターのHPからダウンロードできます。※応募者多数の場合は、抽選いたします。

お知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントにつきましては、開催の中止や内容・スケジュールなどの変更を行う場合があります。変更のあった場合はSNSでお知らせいたします。ご来館にあたっては事前に電話でお問い合わせいただくか、HP・SNSでご確認ください。

●● 連携事業 ●●

共催:垂水区役所 五色塚古墳まつり	日時:6月18日(土)10:00～15:30 会場:垂水区 五色塚古墳
共催:東灘区文化センター 講演 発掘された灘の酒蔵	講演会:7月1日(金)10:00～11:30 会場・問い合わせ先:東灘区文化センター
共催:神戸市立西図書館 スタンプラリー お宝だいぼうけん12	日時:7月20日(水)～8月21日(日) 会場:西図書館・埋蔵文化財センター
共催:道場町連合自治会 道場町文化財展	日時:11月2・3日(水・木/祝) 会場:北区 農村環境改善センター
共催:垂水区役所 おとし山まつり	日時:11月3日(木/祝)10:00～15:30 会場:垂水区 大蔵山遺跡公園



五色塚古墳まつり 2022

6月18日(土) 10:00～15:30 (雨天中止)

兵庫県最大の前方後円墳 五色塚古墳で、勾玉づくりや土器・埴輪づくりなど、古代人のものづくりを体感しよう!!



第1部

霞ヶ丘小学校6年生有志による
古墳時代パレード

10:00～11:30

第2部

古代体験 13:00～15:30



交通のご案内

JR・山陽電車垂水駅より西に徒歩約15分
山陽電車霞ヶ丘駅より東に徒歩約5分

会場：垂水区五色山4丁目1 史跡五色塚古墳
主催：神戸市文化財課
協力：韓国打楽器コルモッキル / 山陽電気鉄道株式会社
NPO法人輝かすみが丘
垂水区まちづくり課 / 神戸市立霞ヶ丘小学校

お問い合わせ先：神戸市埋蔵文化財センター TEL：078-992-0656
神戸市総合コールセンター TEL：078-333-3330

当日のお問い合わせ先：TEL:090-2597-3013

KOBE
UNESCO City of Design

第2部 古代体験

13:00~15:30

古墳の墓石を持ってみれる
コーナーもあるんだって！



なつしま

ワンダリズム
さみと呼ぶ声



勾玉づくり

参加費
300円

やわらかい石を削って、勾玉を作ろう！
きれいに磨いてピカピカに仕上げてね。



土器・埴輪づくり

参加費
300円

粘土を使って、土器や埴輪を作ってみよう！



古代の鏡づくり

参加費
500円

先着20名 (13:00~14:00~各回10名)

鋳型に文様を彫って古代の鏡を作ろう！



火おこし体験

参加費
無料

古代の火おこし器「舞ギリ」を使って、火をおこしてみよう！

どれも
面白そうだなあ～

夏休みの宿題にも
ピッタリだ！

詳しくはこちら




KOBE生涯学習パスポート
「マナビイ単位認定制度」対象です

神戸市埋蔵文化財センターからのお知らせ

体験！ 考古学講座

※ 参加をご希望の講座ごとに、往復はがき又はFAXに「講座名・参加者氏名・引率者氏名・年齢・住所・連絡先」をご記入の上、該当日の15日前必着でご応募ください。
※ 小学校4年生以上対象・小学生は保護者同伴でご参加ください。

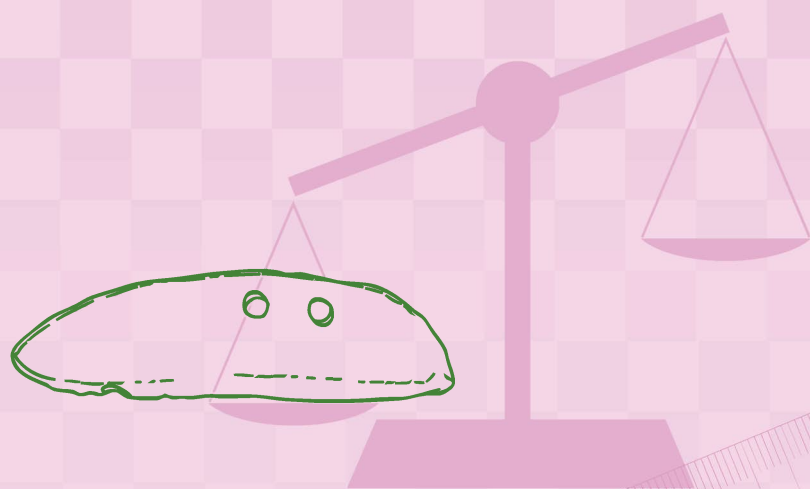
開催日時	講座名	募集人数/費用
7/16 (土) <10時~12時> <14時~16時>	勾玉をつくろう (1)	午前・午後 各30名 1人300円
7/24 (日) <10時~12時> <14時~16時>	火おこし器をつくろう	午前・午後 各30名 1人500円
7/30 (土) <10時~12時> <14時~16時>	古代の鏡をつくろう	午前・午後 各20名 1人500円
8/6 (土) <10時~12時> <14時~16時>	土器をつくろう	午前・午後 各30名 1人300円
8/4 (日) <10時~12時> <14時~16時>	土器をつくろう	午前・午後 各50名 1人300円
8/11 (木祝) <10時~16時>	銅鐸をつくろう	20名 1人1000円
8/20 (土) <10時~15時>	古代の編み機をつくろう	20名 1人500円
8/27 (土) <10時~12時> <14時~16時>	勾玉をつくろう (2)	午前・午後 各30名 1人300円
9/10 (土) <10時~12時> <14時~16時>	古代の染物をしよう	午前・午後 各15名 1人500円
11/12 (土) <10時~15時>	茅葺職人さんと 竪穴住居を建てよう	20組 1組300円
1/28 (土) <10時~15時> 3/4 (土) <10時~15時>	縄文土器をつくろう 作業1~形をつくる~ 作業2~土器を焼く~	30名 2回合わせて1人1000円

神戸で

令和4年度 春季企画展

いちばん!

— くらべてみよう、遺構や遺物 —



2022 年

4 月 16 日 (土)

▶ 6 月 26 日 (日)

神戸市埋蔵文化財センター

神戸で いちばん!

— くらべてみよう、遺構や遺物 —



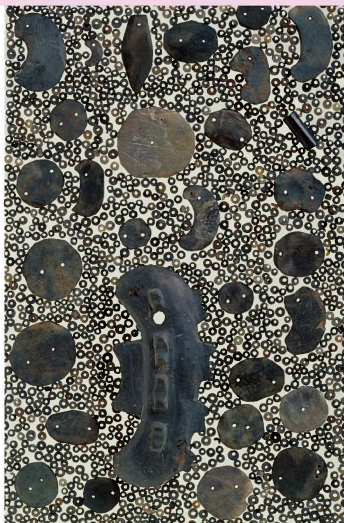
大きな古墳：垂水区五色塚古墳

神戸市には旧石器時代から近現代まで、約900個所の遺跡が存在します。昭和40年代以降多くの発掘調査が行われ、土器をはじめ、石器・木器・金属器などの遺物が出土し、竪穴建物・墓・溝・土坑などの遺構が検出されています。発掘調査によって積み上げられてきた考古資料は、神戸の歴史を語る上で欠かすことのできない貴重な資料となっています。

今回はその多くの資料の中から、大きいものや小さいもの、あるいは古いものなど、遺物と遺構に関する様々なジャンルの神戸市内出土資料の「いちばん」を取り上げます。大小はなぜ生じたのか、古いことが示すものは何なのかなど、一番であることや他の資料との比較を通して、それぞれの考古資料がもつ意味について考えていきます。



大きな鏡：灘区西求女塚古墳



多くの玉：西区新方遺跡



大きな石包丁：東灘区本山遺跡

展示解説とバックヤードツアー		各日とも10:30～11:00、14:00～14:30 無料
展示解説	■	4月24日(日)・5月21日(土)
バックヤードツアー	■	5月8日(日)・5月28日(土)
ご利用案内		
会場	■	神戸市埋蔵文化財センター 企画展示室
開館時間	■	10:00～17:00 [入館16:30まで]
休館日	■	毎週月曜日
入館料	■	無料
交通のご案内		
地下鉄	■	三宮駅から西神中央駅まで約30分
バス	■	明石駅から西神中央駅まで約35分 ※各線西神中央駅から徒歩8分 ※駐車場はありません



市営地下鉄に乗って埋蔵文化財センターに行こう!!
 「地下鉄1日乗車券」発売中!
 詳しくは <http://ktbsp.jp/> で検索

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容を変更することがあります。事前に電話や当館HP、神戸市文化財課SNS等でご確認ください。

神戸市埋蔵文化財センター
 〒651-2273 神戸市西区糀台6丁目1 西神中央公園内
 TEL:078-992-0656 FAX:078-992-5201 [神戸まいぶん検索](#)

リサイクル適性
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

大きな古墳 全長 194m

垂水区にある五色塚古墳は、神戸市はもとより、兵庫県でも1番大きな古墳で、4世紀後半に造られました。斜面には葺石、平坦部には埴輪が並べられていました。明石海峡に面して、大きな古墳を造ることができる力を現しているかのようです。現在は整備が行われ、多くの見学者をむかえ入れています。



長い横穴式石室 長さ 13.3m

古墳には死者を葬るための部屋が設けられます。その内、石造りの部屋は「石室」と呼ばれています。神戸で最も長大な横穴式石室は垂水区にある高塚山古墳群8号墳（長さ17mの楕円形墳）のもので、長さが13.3mもあります。石室の中には4つの木棺が置かれていました。家族みんなのお墓だったのでしょうか。6世紀後半～7世紀に造られました。



大きい竪穴建物 直径 11.5m

北区宅原遺跡で見つかった弥生時代後期の竪穴建物です。10本柱で2回建てかえがされています。面積は約104㎡。かべ沿いはデッドスペースになりますが、50畳ぐらひはあります。普通の住居ではなく、何か特別な使い方をされていたのかもしれない。



神戸で



いちばん!

— くらべてみよう、遺構や遺物 —

令和4年度 春季企画展

2022年

4月16日(土)

▶ 6月26日(日)

神戸市には旧石器時代から近現代まで、約900個所の遺跡が存在します。昭和40年代以降多くの発掘調査が行われ、土器をはじめ、石器・木器・金属器などの遺物が出土し、竪穴建物・墓・溝・土坑などの遺構が検出されています。こうして積み上げられてきた考古資料は、神戸の歴史を語る上で欠かすことのできない貴重な資料となっています。

今回はその多くの出土資料の中から、大きいものや小さいもの、あるいは古いものなど、遺物と遺構に関する様々なジャンルの「神戸でいちばん!」を取り上げます。大小はなぜ生じたのか、古いことが示すものは何なのかなど、一番であることや他の資料とくらべることで、それぞれの考古資料がもつ意味について考えます。

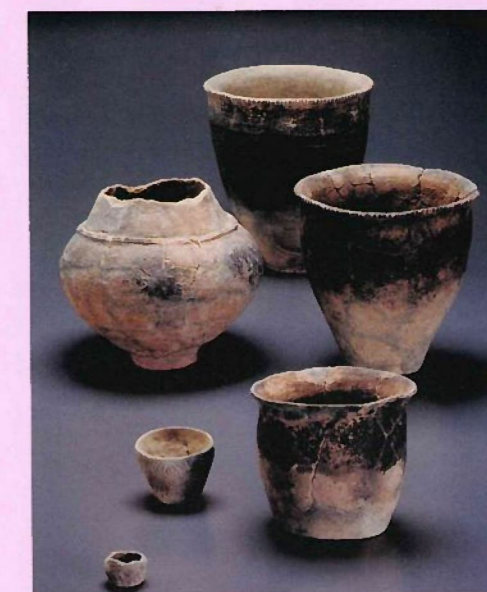
古い石器 約3万年～1.4万年前頃



神戸に人類がいた最古の証拠は、西区菅野遺跡などから出土したナイフ形石器という旧石器時代の石器です。名前にナイフとありますが、実際には槍先として使われていたようです。残念ながら生活していたあとは見つかっていません。狩りの途中で落としたのかもしれない。

古い土器 約11,500年前

小さな破片ですが縄文時代早期の土器で、中央区の雲井遺跡から出土しました。ちなみに日本で一番古い土器は、青森県大平山元1遺跡から出土した土器で、およそ16,000年前のものと言われています。この土器は今のお鍋のように煮炊きに使われたようです。表面に木の枝を転がしてつけた文様があります。



古い弥生土器 弥生時代前期前半

東灘区本山遺跡の川の跡から出土しました。弥生時代前期の中でも最も古い段階の土器です。その他、木製の鍬や斧の柄なども出土しており、近畿地方の稲作のはじまりの様子がうかがえる貴重な資料です。科学的な年代測定では、約2,700年前という数値が得られています。

令和4年度 神戸市埋蔵文化財センター 春季企画展
神戸でいちばん! — くらべてみよう、遺構や遺物 —

編集発行: 神戸市文化スポーツ局文化財課
発行: 令和4年4月16日
住所: 神戸市西区靴台6丁目1 西神中央公園内

KOBE
UNESCO City of Design

リサイクル選性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



大きな石包丁 長さ 35.7cm

東灘区本山遺跡から他の弥生時代の石器といっしょに出土しました。ふつうの石包丁と同じような形をしています。あまりにも大きいのでふつうに稲の穂をつみとる道具としては使わずに、道具としてほかの使い方をしたのか、あるいはマツリ=祭祀に用いられたものかもしれません。

重い石斧 1,365g

須磨区戎町遺跡で出土した弥生時代の木をきり倒すための石斧です。このような石斧はある程度の重さを利用して木を切っていました。現代の実験では直径10cmほどのクリの木を、10分くらいで切り倒せたそうです。使っていくうちにすり減ったりかけたりすることもあります。一般的には約700gから約1,500gの大小があるようです。



神戸で

いちばん!

— くらべてみよう、遺構や遺物 —

大きな矢じり 長さ 6.5cm

垂水区舞子東石ヶ谷遺跡で出土した弥生時代の矢じりです。矢柄へのつけ方が変わったのでしょうか、それまでの矢じりの形にくらべて細長く、根元もくびれて突き出しています。その分長くなり、重量も増えました。重さは5gあります。より遠くへ飛ばすことができたのかもしれません。また、狩りだけでなく戦いにも使われたとも考えられています。



大きい鏡 径 22.6cm 小さい鏡 径 2.7cm

大きい鏡は灘区の西求女塚古墳から出土した三角縁神獸鏡です。多くの破片に割れていましたが、直径は22.6cm、重さも1431.9gといちばん重い鏡です。細かいところまで、はっきりと鑄造されているのがわかります。お墓に葬られた人物の地位の高さがうかがえます。



小さい鏡は西区吉田南遺跡の溝から出土した素文鏡です。中国製の鏡をまねて作った直径わずか2.7cmの小さな鏡です。形は鏡なのですが小さすぎるので、顔を映して見るという使い方はできません。位の高い人かマツリ=祭祀を行う人が身につけていたと考えられます。



大きい勾玉 長さ 14cm 小さい勾玉 長さ 1cm

大きい勾玉は子持勾玉と呼ばれるもので、垂水区五色塚古墳から出土しました。側面や平らな面の突起は波状にけずりだしています。形態などから古墳が造られた時代よりも後の6世紀代のものと考えられています。子持勾玉は、全国で約450例知られていますが、その中でも最大級の大きさになります。



小さい勾玉は西区新方遺跡の古墳時代後期の玉を作っていた作業場から、1,000点以上の白玉、管玉、勾玉といっしょに出土しました。長さ1.0cm、孔の直径は1mmとすごく小さいものです。どちらも滑石というやわらかく加工しやすい石で作られています。

小さい玉 直径 2mm ちょっと

最大の埴輪と同じ白水瓢塚古墳の棺の中から、石製の勾玉や管玉とともに、多数のガラス小玉が出土しました。そのうち最小のものは直径が2.3mmで、棺の中にもばらまかれていたようです。埋葬したときの状態がよくわかるので、出土した状態のまま、はぎ取りして持ち帰ってきました。



大きい埴輪 直径 46cm

意外にも五色塚古墳の埴輪ではなく、西区にある白水瓢塚古墳の埴輪が一番大きいことがわかりました。高さだけで言えば、五色塚古墳にはもう10cmほど高い埴輪があるのですが、直径に大きな差があり、体積=見た目の大きさが違います。こちらの埴輪をいちばんと認定しました。



小さい埴輪 高さ 27cm

西区榎谷町の松本遺跡第4地点にある円墳のすぐ近くに、円筒埴輪と土師器の甕を棺として使った子供用のお墓がありました。埴輪の高さはわずか27cmしかありません。時期は6世紀中頃と考えられます。



令和4年度の特別展

博物館

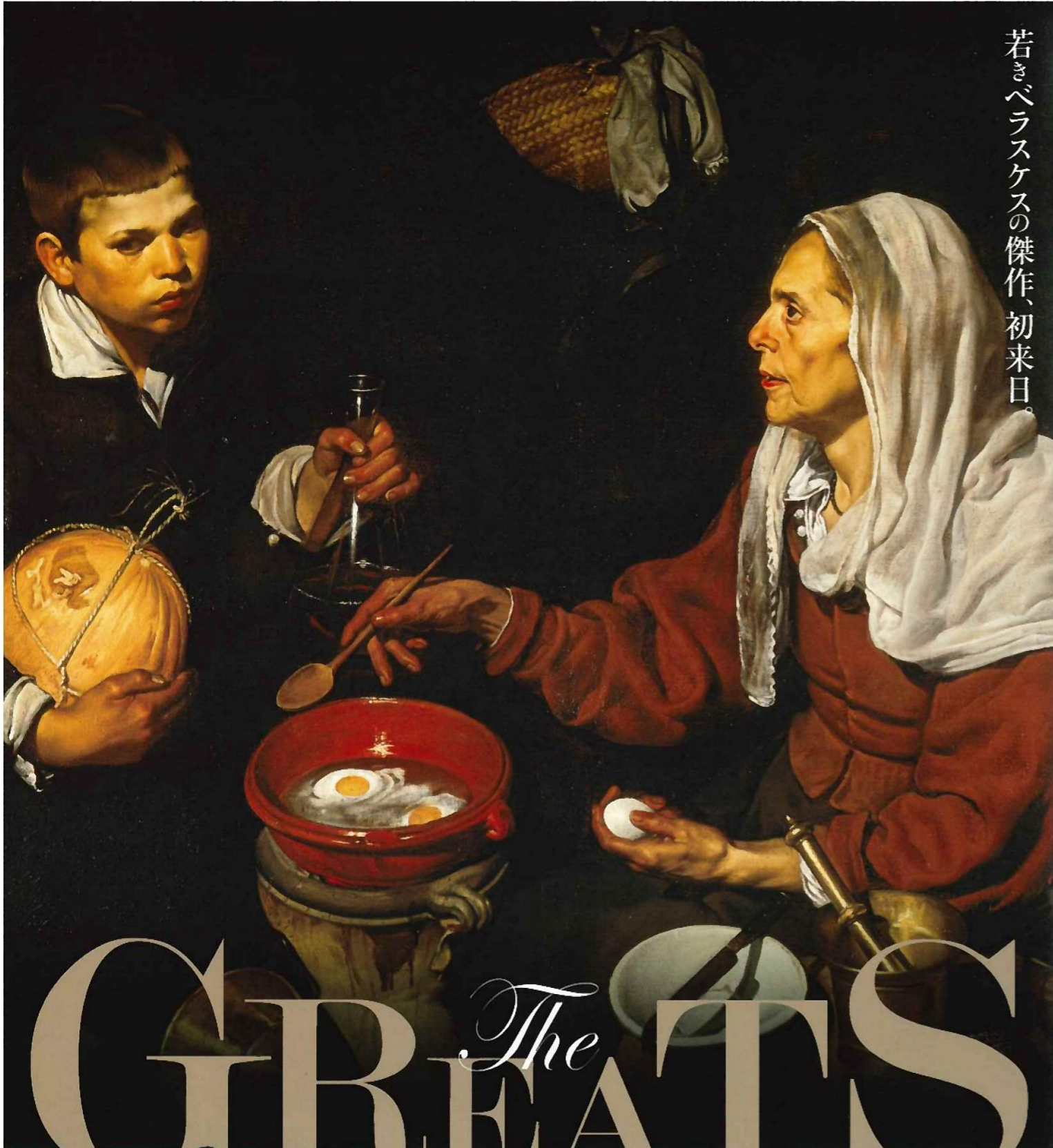
展覧会名	会期	入館者数
特別展 大英博物館ミイラ展 古代エジプト 6つの物語	令和4年(2022)2月5日(土) ～5月8日(日)【81日間】	136,234人 (1,682人/日)
特別展 スコットランド国立美術館 THE GREATS 美の巨匠たち	令和4年(2022)7月16日(土) ～9月25日(日)【62日間】	想定入館者 85,000人 (1,371人/日)
神戸市立博物館開館40周年記念特別展 よみがえる川崎美術館展 —川崎正蔵が守り伝えた美への招待—	令和4年(2022)10月15日(土) ～12月4日(日)【44日間】	想定入館者 50,000人 (1,136人/日)

小磯記念美術館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 秘蔵の小磯良平 —武田薬品コレクションから	令和4年(2022)年6月11日(土) ～9月25日(日)【92日間】	・7月10日(日)までの入館者 2,666人 (103人/日) ・想定入館者 23,000人 (250人/日)
開館30周年記念特別展 竹中郁と小磯良平 —詩人と画家のメモワール—	令和4年(2022)年10月8日(土) ～12月18日(日)【62日間】	想定入館者 15,500人 (250人/日)

神戸ゆかりの美術館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 白洲次郎・白洲正子 武相荘 折々のくらし	令和4年(2022)7月16日(土) ～9月25日(日)【62日間】	想定入館者 18,700人 (302人/日)
特別展 川西 英～三つの百景	令和4年(2022)10月15日(土) ～12月25日(日)【62日間】	想定入館者 13,800人 (223人/日)



若きベラスケスの傑作、初来日。



The GREATS

Masterpieces from the National Galleries of Scotland

Masterpieces from the National Galleries of Scotland

音声ガイド
ナビゲーター
天海祐希【女優】
名画の見どころ、
巨匠たちの知られざる
エピソードを紹介します。
【貸出料金】お一人様1台600円(税込)

観覧料	当日	前売・団体
一般	1800円	1600円
大学生	900円	700円

●JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅、神戸市営地下鉄(西神・山手線)、ポートライナー「三宮」駅から南西へ徒歩約10分 ●JR、阪神「元町」駅から南東へ徒歩約10分 ●神戸市営地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」駅から南東へ徒歩約8分 ●新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(西神・山手線)に乗換え、「三宮」駅下車 ●神戸空港からポートライナーで「三宮」駅下車
※博物館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。



日時指定予約優先制
詳細は展覧会公式サイトへ

前売券販売期間:2022年6月1日(水)~7月15日(金)
前売券販売場所:公式オンラインチケット、ローソン、チケットぴあ等の主要プレイガイド、セブンイレブン他コンビニエンスストア等

神戸市立博物館
Kobe City Museum
〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
TEL:078-391-0035 FAX:078-392-7054
HP:https://www.kobecitymuseum.jp

表面:ジョシュア・レンルズ《ワールドグレイヴ家の貴婦人たち》(部分) 1780-81年
裏面:ディエゴ・ベラスケス《卵を料理する老婆》(部分) 1618年 © Trustees of the National Galleries of Scotland

美の巨匠たち

スコットランド国立美術館

2022.7.16(土) - 9.25(日)

神戸市立博物館

Kobe City Museum
公式サイト <https://greats2022.jp>
展覧会公式Twitter @greats2022

○開館時間:午前9時30分~午後5時30分 ※但し、金曜日、土曜日は午後7時30分まで ※入場はいずれも閉館の30分前まで ○休館日:月曜日、7月19日(火)、9月20日(火) ※但し、7月18日(月・祝)、9月19日(月・祝)は開館 ○主催:神戸市立博物館、毎日新聞社、NHK神戸放送局、NHKエンタープライズ近畿 ○協賛:信越化学工業、DNP大日本印刷、公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部 ○後援:ブリティッシュ・カウンシル、Kiss FM KOBE ○協力:日本航空、ルフトハンザカーゴ AG

GREATS

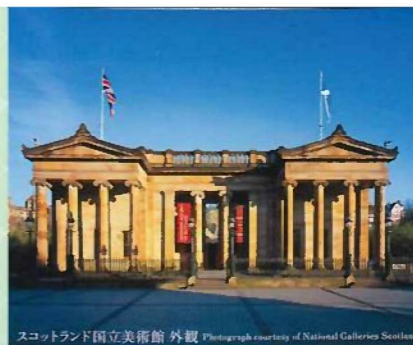
Masterpieces from the National Galleries of Scotland

美の巨匠たち

周辺の壮大な自然環境と、起伏に富む重厚な街並みで「北のアテネ」とも称される古都・エディンバラ。その中心に1859年に開館したスコットランド国立美術館は、現在では毎年230万人以上が訪れる、ヨーロッパでも屈指の規模を誇る美術館となっています。その収蔵品は、中世から現代にいたる西洋美術史をカバーしつつ、英国、

特に地元スコットランドの芸術家たちの作品に関して唯一無二のコレクションを形成してきました。本展では、このスコットランドの誇る至宝の中から、ラファエロ、エル・グレコ、ベラスケス、レンブラント、プーシェ、ルノワールなど、ルネサンス期から19世紀後半までの西洋絵画史を彩る巨匠たちの作品を展示します。ヨーロッパの巨匠たちによる

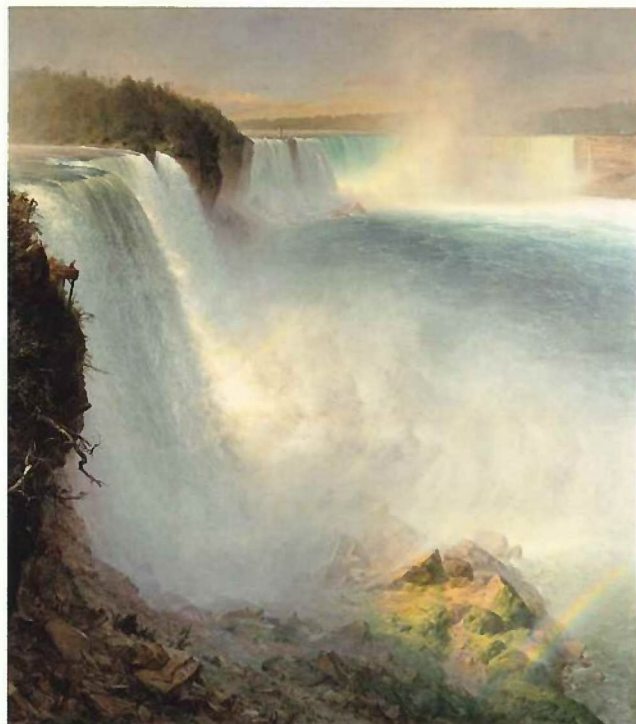
芸術に触発されて生まれた、ゲインズバラ、レノルズ、コンスタブルらによる英国絵画、特に、レイバーン、グラントなど、スコットランド出身の画家たちの珠玉の名品も多数出品。ルネサンス、バロック、グランド・ツアーの時代、19世紀の開拓者たち、の4章で展覧する合わせて約90点の作品は、多くが日本初出品のものです。ヨーロッパ大陸と英国との文化交流、スコットランドの独特な気風が育んだ、壮大な美の旅へお出かけください。



スコットランド国立美術館 外観 Photograph courtesy of National Galleries Scotland



スコットランド国立美術館 内観 Photograph courtesy of National Galleries Scotland



フレデリック・エドウィン・チャーチ
《アメリカ側から見たナイアガラの滝》
1867年 油彩・カンヴァス

壮大な 美の旅へ

見たことのない
自然美を求めて世界を旅した
アメリカの風景画家による超大作。

描かれているのは、
「サルバトール・ムンディ（世界の救い主）」の図像。



エル・グレコ
《祝福するキリスト（「世界の救い主」）》
1600年頃 油彩・カンヴァス



アンドレア・デル・ヴェロッキオ（帰属）
《幼児キリストを礼拝する
聖母（「ラスキンの聖母」）》
1470年頃
テンペラ、油彩・カンヴァス
（板から移行）

お父さん、行ってきます

ヴィクトリア朝時代を代表する
肖像画家グラントが愛娘を描いた作品。



フランシス・グラント《アン・エミリー・ソフィア・グラント（「ダイジー」・グラント）、
ウィリアム・マールカム夫人（1836-1880）》1857年 油彩・カンヴァス

19世紀英国を
象徴する風景画家コンスタブルが、
自身の故郷を描いた傑作。

知らないのに、 懐かしい



ジョン・コンスタブル《ダムの谷》
1828年 油彩・カンヴァス

印象深い題名は、
ミレイがある詩に感興を覚えて
名付け直したもの。
少女の純真さと儂さが表現された作品。



ジョン・エヴァレット・ミレイ
《古来比類なき甘美な瞳》
1881年 油彩・カンヴァス

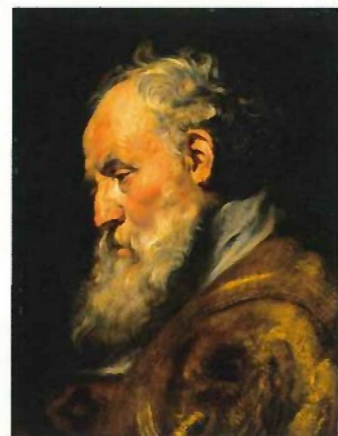
今度こそ、 お願い

悪魔によって
夫を次々と失った
彼女が見つめるのは、
8人目の夫と悪魔の戦い。



レンブラント・ファン・レイン
《ベッドの中の女性》1647年 油彩・カンヴァス

ペーテル・パウル・ルーベンス
《頭部習作（聖アンブロジウス）》
1618年頃 油彩・板



18世紀フランスの
優美とロマンス。
花や鳥を差し出すことは、
女性への求愛を意味する。

フランソワ・ブーシェ
《田園の情景》
左から
「愛すべきバストラル」1762年
「田舎風の贈物」1761年
「眠る女産婦」1762年
油彩・カンヴァス

牧歌的な 愛の戯れ

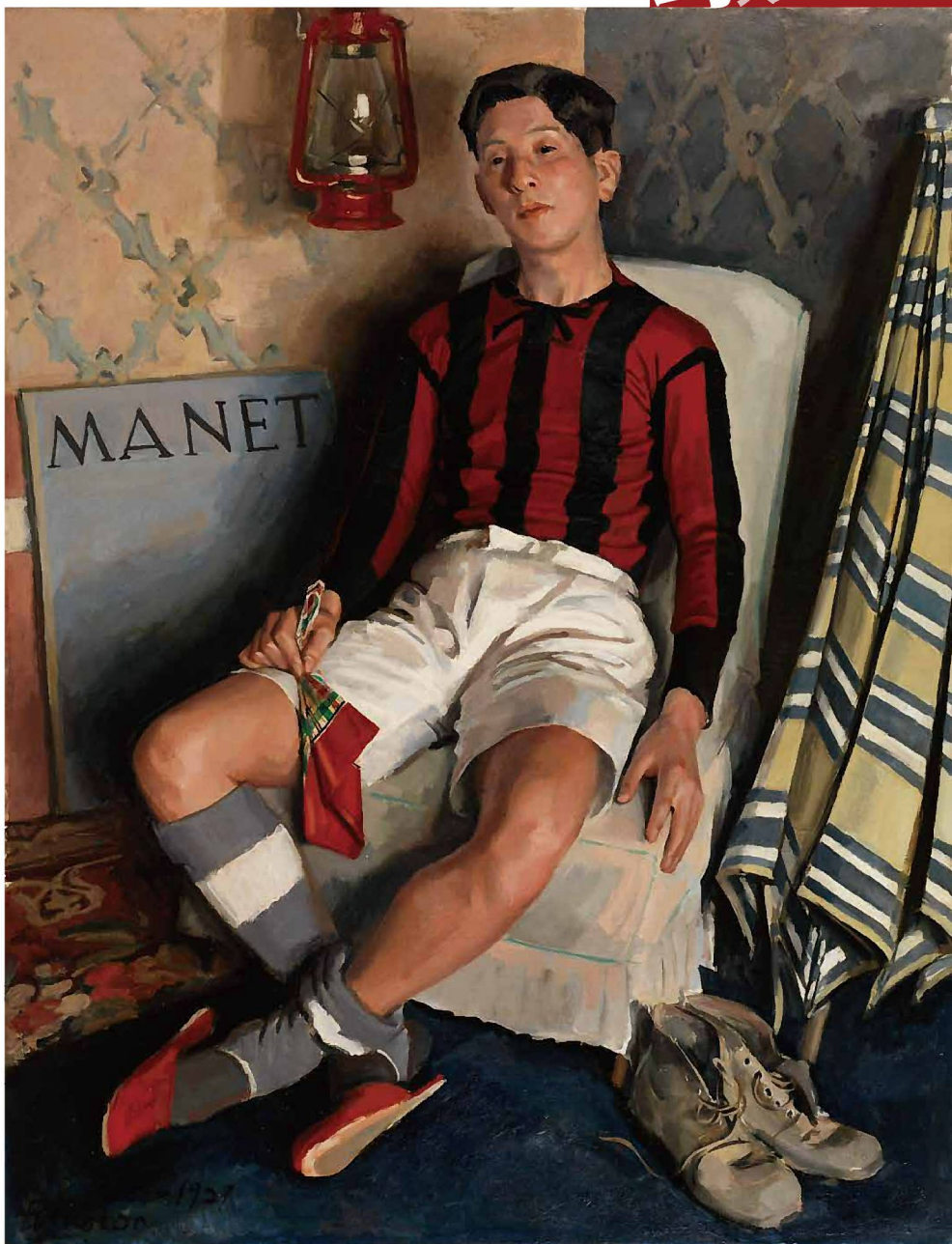
ビエール・オーギュスト・ルノワール
《子どもに乳を飲ませる女性》
1893-94年 油彩・カンヴァス



※作品画像は全て©Trustees of the National Galleries of Scotland

竹中郁と
小磯良平と
開館30年
特別展
詩人と
君と
ぼくとは
前の世で
そしらぬ
顔だった

画家の
メモリアル
回想録の



小磯良平「彼の休息」1977年 油彩 キャンバス 東京藝術大学蔵

2022.
10_8 sat. →
12_18 sun.

※11月15日(火)より一部作品を展示替します。

資料4

開館時間：午前10時→午後5時
(入館受付は午後4時30分まで)
休館日：月曜日(ただし10月10日は開館)、
10月11日
入館料：一般1,000(800)円、大学生500(250)円
※()内は20名以上の団体料金

- 高校生以下無料(学生証、生徒手帳などを持参ください)
- 神戸市在住の65歳以上の方500円
※住所と年齢が証明できるものを持参ください
- 障がい者手帳または
スマートフォンアプリ「ミライロID」ご提示の方は無料
- 「神戸ゆかりの美術館」「神戸ファッション美術館」へは当日入館券(半券)のご提示により割引料金で入館できます

特別展「川西英～三つの百景」(神戸ゆかりの美術館 2022年10月15日～12月25日)との共通入館券(1,500円)を販売します

主催：神戸市立小磯記念美術館、朝日新聞社
協賛：一般財団法人みなと銀行文化振興財団
後援：関西学院大学、神戸新交通株式会社、NHK神戸放送局
協力：武陽会

KOBE CITY
KOISO MEMORIAL
MUSEUM OF ART

神戸市立小磯記念美術館
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7(六甲アイランド公園内)
TEL:078-857-5880 FAX:078-857-3737
<https://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/>



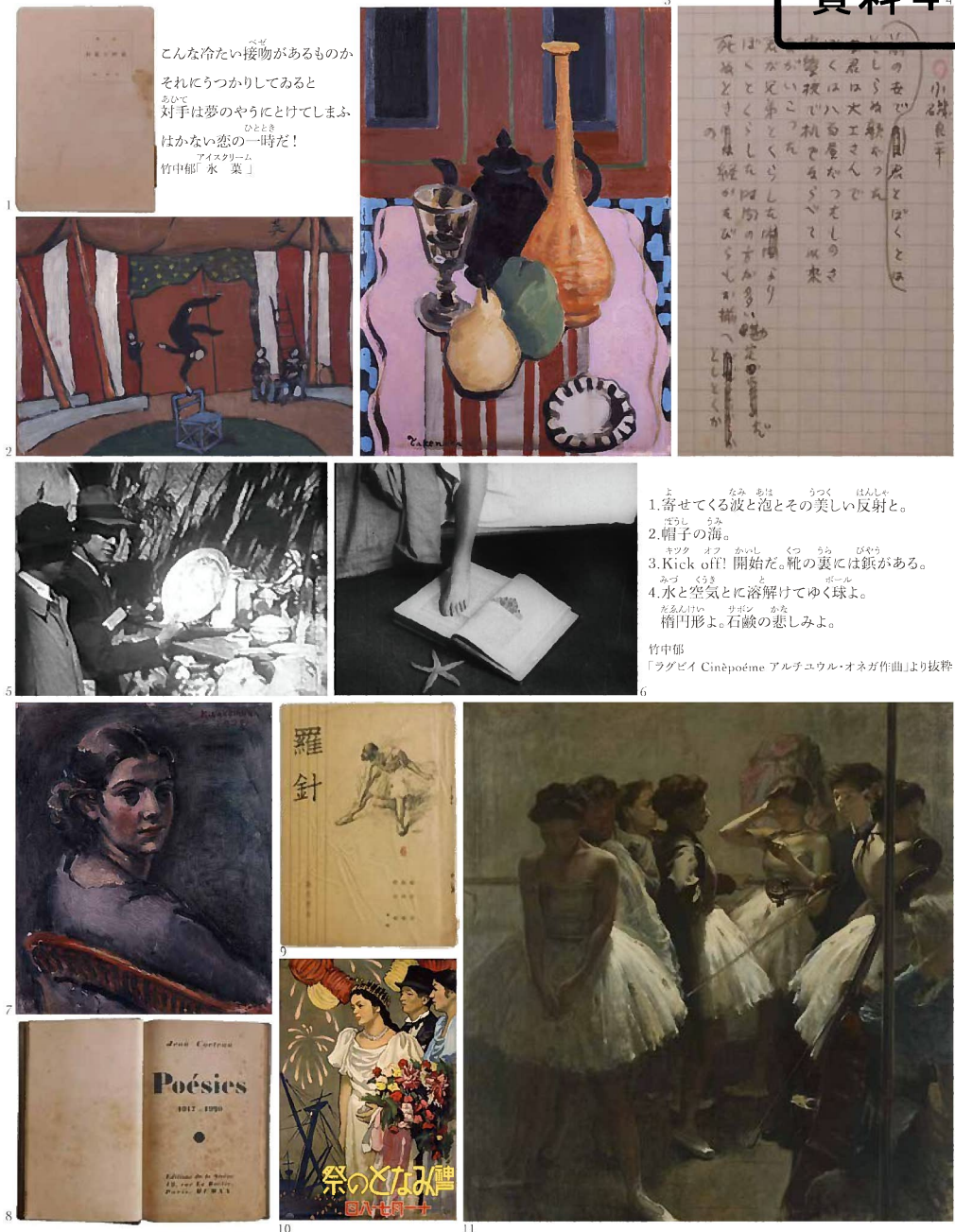
顔そ前ぼ君と だしのく回画詩人 っら世と回想録 たぬでは録の

特別展 開館30年
小磯良平と
竹中郁と

神戸を代表するモダニズムの芸術家、詩人・竹中郁と画家・小磯良平は、1917(大正6)年、旧制兵庫県立第二神戸中学校(現・兵庫高校)で出会い無二の親友となりました。二中時代の二人は絵画クラブに所属し、ともに展覧会鑑賞や写生に出かけました。竹中は関西学院(現・関西学院大)文学部に進学、小磯は東京美術学校(現・東京藝大)に学び、それぞれ本格的に詩と絵画の道へ歩み出します。二人はヨーロッパへ遊学し、帰国後は神戸で活躍しました。竹中は詩人でありながら画家たちのコミュニティに積極的に関わり、小磯も詩雑誌の表紙を手掛けるなど、二人の活動の場は重なりを持ちながら広がって行きました。

本展では、竹中と小磯、そして彼らと関わりの深い芸術家の作品から、約200点の資料や絵画を展示します。中でも竹中が感銘を受けたマン・レイ監督の短編映画『ひとで』や、若き日の二人の姿が写るビデオなどヨーロッパ遊学中の関連資料は見どころです。竹中と小磯の作品が共有する清冽な世界観、そしてそれを生んだ神戸の芸術的環境を、竹中の言葉を借りながら「回想録」のようにたどります。中学時代に画家を夢見た竹中の戦後の絵画約40点もご覧いただけます。

- 1. 竹中郁第一詩集『黄蜂と花粉』1926年 個人蔵 ●2. 川西英(曲芸) 1918年 神戸市立博物館蔵 ●3. 竹中郁(卓上) 1955/57年 兵庫県立美術館蔵 ●4. 竹中郁「創作ノート」(部分)個人蔵 ●5. ヨーロッパ遊学中の小磯(左)、竹中(右) 中西利雄撮影ビデオ 個人蔵 ●6. マン・レイ監督『ひとで』1928年 神戸映画資料館蔵(17分) ●7. 中村研一(フランス婦人像) 1928年 小倉市立はけの森美術館蔵 ●8. ジャン・コクトー『ボエジー』1920年 個人蔵 ●9. 竹中郁編集『羅針』 海港詩人倶楽部 1935年(表紙:小磯良平) 個人蔵 ●10. 小磯良平(原画)〈第一回神戸みなとの祭ポスター〉 1933年 当館蔵(竹中郁がモデル) ●11. 小磯良平〈練習場の踊子達〉1938年 東京国立近代美術館蔵(竹中郁がモデル)



会期中のイベント

講演会

●記念講演会「竹中郁の詩の煌めきをめぐって」

講師: 大橋毅彦氏(関西学院大学文学部教授) / 日時: 11月12日(土) 14:00~15:30 / 定員: 45名 / 会場: 当館2階 絵画学習室 / 申込締切: 10月27日(木) ※申込方法は当館HPをご確認ください。



大人のためのワークショップ

●絵手紙をつくろう

日時: 11月5日(土) 14:00~15:30 / 対象: 高校生以上 / 定員: 20名 / 会場: 当館2階 絵画学習室 / 申込締切: 10月20日(木) 特別展を見て、詩の世界を絵で表現しましょう。 ※申込方法は当館HPをご確認ください。



赤ちゃん家族の日

開催日: 毎月第三木曜日 [10月20日、11月17日、12月15日] 未就学のお子様を連れた大人の方2名まで割引料金(800円)で入館いただけます。「赤ちゃん家族でトーク」(15:00より30分) ※詳細は当館HPをご確認ください。

・いずれも参加費は無料ですが、特別展入館券が必要です。
・イベント等は、今後の諸事情により変更する場合があります。最新の情報は美術館公式HPでご確認ください。

子供のためのワークショップ

●びじゅつかん大作戦スペシャル!!「絵とことばはなかよし」

日時: 10月29日(土) 14:00~16:30 / 対象: 4歳~中学生 / 定員: 12名 / 会場: 当館2階 絵画学習室 / 申込締切: 10月13日(木) 特別展を見て、美術館の思い出を絵と詩でカードにしましょう。ゲスト講師: 橋本正勝氏、乾公人氏、今井美之氏(大阪市立こども文化センター「こども詩の会」)

●びじゅつかん大作戦11月「ぐるぐるワールド」

日時: 11月26日(土) 14:00~16:00 / 対象: 4歳~中学生 / 定員: 12名 / 会場: 当館2階 絵画学習室 / 申込締切: 11月10日(木) 特別展を見て、お気に入りの詩を探します。選んだ詩と絵がぐるぐる回る作品をつくりましょう。

●びじゅつかん大作戦12月「クリスマスカードをつくろう」

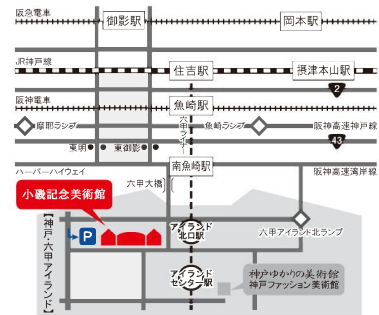
日時: 12月17日(土) 14:00~16:00 / 対象: 4歳~中学生 / 定員: 12名 / 会場: 当館2階 絵画学習室 / 申込締切: 12月1日(木) パステルを使ってクリスマスカードをつくりましょう。

- ・未就学児は保護者の付き添いが必要です。大人の付き添い入館料は割引料金800円です。
- ・付き添いは1グループに対し2名までといたします。



第9回日展開催のお知らせ

令和5~7年、「日展」大阪展に代わり神戸展を六甲アイランドで開催します。
期間: 2023年2月18日(土)~3月26日(日)
会場: 神戸ゆかりの美術館、神戸ファッション美術館



- 電車 JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」から六甲ライナーに乗り換え、「アイランド北口駅」(小磯記念美術館前)下車、西へ徒歩すぐ
 - バス 阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で「ウエストコート3番街前」下車すぐ
- ※美術館の地下に六甲アイランド公園西駐車場(有料)があります。

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 [六甲アイランド公園内]
TEL: 078-857-5880 FAX: 078-857-3737

神戸市立小磯記念美術館
Kobe City Koiso Memorial Museum of Art



織部皿 江戸時代初期



能面 老女 室町時代初期



伊万里色絵四段重(白洲家伝来) 江戸時代

白洲次郎生誕120周年記念特別展

白洲次郎・白洲正子

武相荘折々の暮らし

婚約時代互いに贈った次郎の
ポर्टレート(部分) 1928年

Special Exhibition to Commemorate the 120th Anniversary of Jiro Shirasu's Birth
Jiro and Masako Shirasu Their Beauteous Everyday Life at Buaiso

婚約時代互いに贈った正子の
ポर्टレート(部分) 1928年

シャネル製スーツ プレタボルテ

1924年製 ベントレー XT7471 ワクイミュージアム蔵
(8月14日まで展示)

オリベッタ社製タイプライター

2022年

7月16日(土) ▶ 9月25日(日)

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料: 一般 1,200 (1,000)円、大学生 600(500)円 ※ () 内は20名以上の団体料金

- 高校生以下無料(学生証、生徒手帳などをご提示ください)
- 神戸市居住の65歳以上の方は、年齢と住所が証明できるものをご提示いただくと600円
- 障がい者手帳またはスマートフォンアプリ「ミライロID」などのご提示で無料

休館日: 月曜日(ただし7月18日、9月19日は開館)、7月19日、9月20日

【主催】神戸ゆかりの美術館、神戸新聞社、朝日新聞社

【特別協力】旧白洲邸 武相荘

【協力】ワクイミュージアム 【協賛】ダイキン工業、竹中工務店

神戸ゆかりの美術館

KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1

TEL(078) 858-1520 FAX(078) 858-1522

<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

※提供および所蔵の記載がないものは全て旧白洲邸 武相荘
※ポर्टレート、1924年製ベントレー以外は全て撮影: 浅井佳代子



東北電力会長時代の白洲次郎 1952年
撮影:朝日新聞社



婚約時代の次郎と正子。大磯にて 1929年



白洲正子 提供:旧白洲邸 武相荘



北大路魯山人作 鏤絵鳥文皿 1955年



武相荘「瓦葺門」



ドレス(榊山家伝来)1880年代後半~90年代前半
(明治20年代前半)



袷・単(宮廷装束 榊山家伝来)明治~大正時代



富本憲吉作 色絵四弁花模様箱 1940年頃



ドライビング・キャップ、ゴーグル

白洲次郎(1902-85)は、ケンブリッジに学び、英国流の教養と洗練されたマナーを身に付け帰国しました。第二次世界大戦後の占領下、次郎は吉田茂に請われてGHQとの折衝にあたり「従順ならざる唯一の日本人」と称されるほどの強い信念をもって日本の復興のために尽力しました。

白洲正子(1910-98)は薩摩藩出身の榊山伯爵家に生まれ、自らの意思でアメリカに留学し、帰国後に出会った次郎とたちまち恋に落ち結婚しています。

戦争が始まると、二人は東京郊外の鶴川村に農地付の農家を購入します。この家は武蔵と相模の間に位置したことから「武相荘」と命名されます。正子は青山二郎や小林秀雄との出会いを機に骨董に深く惹かれるようになり、また、きものを愛し、随筆家として活躍します。

本展は、次郎と正子の愛用品や史料など、旧白洲邸 武相荘の所蔵品などにより、二人の暮らしや素顔に迫り、日本文化や暮らしの中の美、心のあり方をみつめようとするものです。

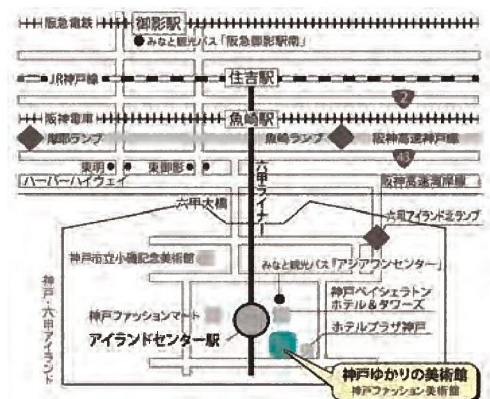
解説会:7月23日、8月6日、20日、27日、9月3日 いずれも土曜日
会場:映像室 午後2時~(約30分間) 定員20名

当日先着順(午後1時30分から受付にて整理券を配布)

学芸員が展覧会について解説します。

※参加費は無料ですが、一般および大学生の方は当日使用できる特別展観覧券が必要です。

本展および関連イベントは、今後の諸事情により変更する場合があります。最新の情報は美術館公式HPでご確認ください。



【交通】

電車/JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」乗り換え、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ バス/阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
※車でお越しの方は美術館隣接の神戸ファッションプラザ駐車場(有料)をご利用ください。

※提供および所蔵の記載がないものは全て旧白洲邸 武相荘
※中段、下段の写真は全て撮影:浅井佳代子

神戸ゆかりの美術館
KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1
TEL (078) 858-1520 FAX (078) 858-1522
https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/



令和4年8月2日
社会教育委員会議資料
文化スポーツ局 スポーツ企画課

公民館事業報告

1. 神戸市公民館条例の改正について

(1) 利用時間帯枠の変更

利便性を高めてより多くの方々に施設を利用いただけるよう、利用時間帯枠を4枠から5枠に増やす改正をおこなった

現行) 9時～12時、13時～15時、15時～17時、18時～21時

改正後) 9時～12時、12時～14時、14時～16時、16時～18時、18時～21時

(2) その他

①住之江公民館 第4会議室A・Bの個別利用を廃止

改正理由：形状上、A・B個別利用が困難なため

②長田公民館 第7会議室を廃止

改正理由：防災用倉庫に転用済みのため

③長田公民館 第2和室を廃止し、第3和室を第2和室へ変更

改正理由：形状上、単独での利用が困難なため

④玉津南公民館 調理室を追加

改正理由：館事業や地域行事にて利用してきたが、地元の要望を受け貸館対象とするため

(3) 施行

令和4年8月1日

2. 令和3年度講座事業報告

講座事業については、新型コロナウイルスの影響から講座内容や定員等に一部制限があり、令和元年度と比較して企画講座数はやや減少したものの、指導主事を中心として概ね移管前と変わらず企画・運営できている。新しい取り組みとしては、新型コロナウイルス対策の一環として、初めてオンラインでの館外教室も実施した。

短期講座

	春季講座	秋季講座	合計
住之江	6 (18)	12 (19)	18 (37)
葺合	9 (7)	14 (9)	23 (16)
清風	13 (15)	22 (18)	35 (33)
長田	17 (22)	22 (24)	39 (46)
南須磨	10 (11)	14 (12)	24 (23)
東垂水	4 (9)	6 (7)	10 (16)
玉津南	12 (24)	19 (28)	31 (52)
合計	71 (106)	109 (117)	180 (223)

サマースクール

	サマースクール講座数
住之江	7 (18)
葺合	11 (6)
清風	7 (10)
長田	16 (21)
南須磨	11 (12)
東垂水	10 (9)
玉津南	13 (23)
合計	75 (99)

※ () は令和元年度の講座数 R3、R1 共に実績ベース。新型コロナの影響等で実施できなかった講座あり。

記者資料提供(令和4年6月8日)
神戸市文化スポーツ局中央図書館
総務課 村井・西山
TEL:078-371-3351 FAX:078-371-5046



KIITO 三宮図書館(現三宮図書館)が7月26日に仮移転オープンします

三宮図書館は令和4年6月30日に閉館し、雲井通5丁目地区再開発ビル(令和9年度工事完成予定)に移転するまでの間、デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)へ仮移転します。

中央図書館において、仮移転先の整備を進めてきましたが、このたびオープンすることとなりましたのでお知らせします。

※ 仮移転先の図書館は、現三宮図書館及び雲井通5丁目地区再開発ビルに入居する新三宮図書館と区別するため、「KIITO 三宮図書館」の通称を使用しています。

記

1. KIITO 三宮図書館の概要

- (1)開館日時 令和4年7月26日(火曜) 午前10時
- ※ 同日午前9時から10時まで、関係者による内覧会を行います。
 - ※ 午前9時30分より、主催者代表(市長)及び来賓代表からご挨拶を予定しています。
- (2)位置・面積 神戸市中央区小野浜町1-4
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)2階
図書館の専有面積は1,000㎡(現三宮図書館は606㎡)
- (3)指定管理者 神戸新聞・TRCグループ
(代表者)株式会社 図書館流通センター
東京都文京区大塚3丁目1番1号
代表取締役社長 谷一 文子
(三宮図書館長 西田博至)
- ※ 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日
- (4)休館日及び開館時間(現在の三宮図書館と同じです)
- ア)休館日
- ・ 毎週月曜。月曜が祝休日の場合は開館し、直後の祝休日でない日を休館します。
 - ・ 年末年始(12月29日～1月3日)
 - ・ 蔵書点検期間(年1回。7日以内)
 - ・ その他、市長が定める日

イ)開館時間

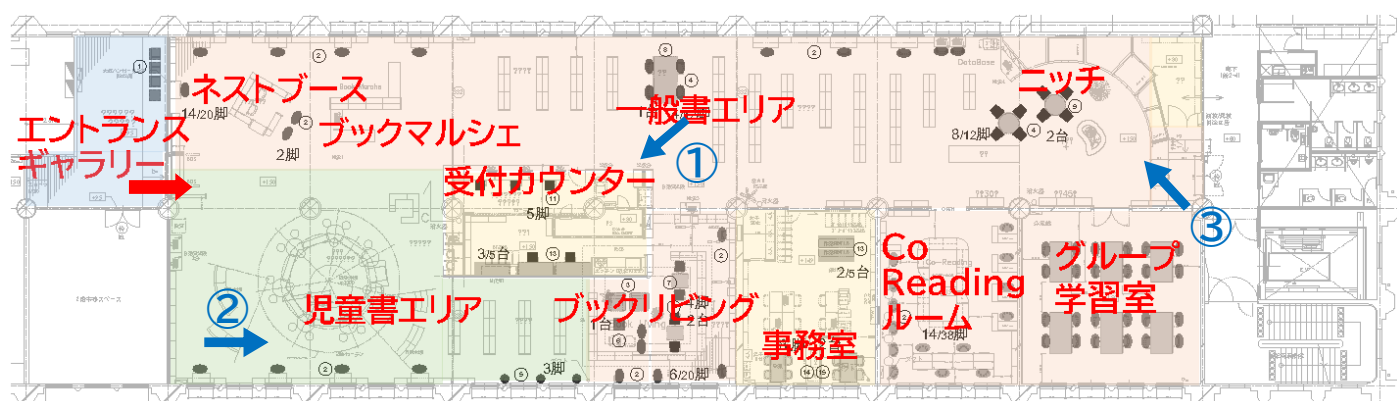
- ・ 平日(土曜含む) 午前 10 時～午後9時
- ・ 日曜、祝休日 午前 10 時～午後6時

(5)館内の設備等内容 ※現三宮図書館の数字は令和3年度実績

名称	内容
一般書エリア	蔵書数 約5万冊(現三宮図書館 56,936 冊)
児童書エリア	蔵書数 約2万冊(現三宮図書館 20,083 冊)
キッズコーナー	・子どもを見守りながら読書できるようカーペットコーナーの周囲に椅子やベンチを丸く配置
さまざまなタイプの読書スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ネストブース:少人数で読書に集中できる小さな閲覧スペース ・ブックマルシェ:司書おすすめの本も展示できるスペース ・ブックリビング:くつろいで読書ができるスペース ・ニッチ:壁を彫り込んだ座席。自分だけの空間で静かに読書ができるスペース ・Co Reading:事典類やビジネス関連書など、本を参照しながらの調べものや読書ができるスペース
グループ学習室	個人でもグループでも読書や学習に利用できるスペース (定員 24 名)
座席数	合計 110 席 ※車いす専用席1含む (現三宮図書館 66 席) 個人 24 席、共用デスク 71 席、スツール・ソファ 12 席、ベンチ 3 席
サービス機器	蔵書検索機 3台、自動貸出機 3台 データベース端末 2台、書籍消毒器 1台(開館後に導入) Wi-Fi 利用エリア(すべてのコーナーで利用可能となる予定)
新型コロナウイルス感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ソファなど一部の座席を除き、座席間に透明の亚克力板を設置 ・アルコール消毒の徹底 など

2. 平面レイアウト

① カウンター周辺



② キッズコーナーからブックリビング



③ ニッチ(壁を彫り込んだ座席)



※イメージパースのため実際とは多少異なる場合があります。

記者資料提供(令和4年7月20日)
神戸市文化スポーツ局 文化交流課 坂井・池田
TEL:078-322-6495 FAX:078-322-6137
同 中央図書館総務課 村井・福永
TEL:078-371-3301 FAX:078-371-5046



「なでしこ芸術文化センター」の概要をお知らせします ～西神中央ホールと新西図書館が10月1日に開館します～

神戸市は、令和元年9月に、都市ブランドの向上と人口誘因につなげるプロジェクトとして「リノベーション・神戸」をスタートさせ、同年12月にその第2弾～見違えるような神戸へ～を発表しました。

第2弾のうち、「西神中央活性化プラン～進化する上質なまち～」の一つである西神中央ホール及び新西図書館の整備については、両施設の複合施設「なでしこ芸術文化センター」として令和3年2月より建築工事を進めてまいりましたが、このたび同工事が竣工し、本年10月に開館の運びとなりましたので、その概要をお知らせします。

さらに詳細な内容に関しては、後日改めてお知らせします。

記

1 「なでしこ芸術文化センター」の概要

(1)開館日 令和4年10月1日(土)

※西神中央ホール・新西図書館の一般供用開始時刻、開館式典等は後日公表します。

(2)位置 神戸市西区美賀多台1丁目1番1(位置図参照)

(3)敷地面積 4,000 m²

(4)延床面積 6,172 m²

(5)建物高さ 地上3階

(6)駐輪場・駐車場 機械式駐輪場 71台(有料)、車椅子利用者用駐車場 2台のほかおもいやり駐車場(※)2台を設けます。

※ 高齢者・障害者・難病の方・妊産婦・負傷された方等の歩行が困難な方向への駐車場

2 「西神中央ホール」の概要

(1)専用面積 2,448 m²(共用部を含めると3,604 m²)

(2)施設規模 客席 500席

(3)諸室 リハーサル室・練習室 4室、楽屋兼会議室 4室

(4)その他 カフェ等、アートウォール(区画ごとに芸術作品等を展示可能な棚)をホールと図書館を接続する部分に設置

なお、2022年7月20日現在、ホールは2023年7月分、スタジオ1・アートスペース・交流広場は2023年1月分、スタジオ2～4は2022年10月分までのご予約を受け付けております。

施設の予約方法や空き状況は、西神中央ホール HP (<https://seishin-hall.jp/>) よりご確認ください。

3 「新西図書館」の概要

- (1)専用面積 2,275 m²(共用部を含めると2,861 m²) 【現西図書館 703 m²】
- (2)蔵書数 約30万冊(うち閉架書庫約10万冊)
※開館時約20万冊 【現西図書館 約10万冊】
- (3)座席数 約300席 【現西図書館 71席】
- (4)諸室 対面朗読室、セミナー室、学習室、おはなしの部屋、ボランティア控室等

新西図書館は「新しい出会い、新しい発見がある、本の広場」を基本方針とし、本市西部地域の核となる地域図書館です。

ゆったりと読書や調べものができる居心地のよい「滞在型図書館」で、現西図書館にはない「対面朗読室」や「セミナー室」等、様々な部屋を設けます。

※ 現西図書館の休館について

新西図書館が令和4年10月1日(土)に開館するのに先立ち、現在の西図書館は、移転準備のため、以下のとおり休館いたします。

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。

(1) 現西図書館の休館期間

令和4年8月31日(水)午後8時に閉館し、9月1日(木)～30日(金)まで休館します。
現西図書館の窓口での貸出についても、8月31日(水)午後8時までとなります。

(2) 臨時窓口(現西図書館)で予約された図書の受取

9月1日(木)～8日(木)の期間(9月5日(月)は除く)は、次の時間帯において、現西図書館内に設ける「臨時窓口」で予約図書の受取ができます。

火曜～土曜 午前10時～午後6時
日曜 午前9時～午後5時

(3) ご用意できた予約図書の連絡

8月30日(火)までとなります。

なお、8月31日(水)以降にご用意できた予約図書の受取場所は、移転先の「新西図書館」となり、10月1日(土)以降に順次ご連絡します。

(4) 図書の返却

臨時窓口又は現西図書館備え付け返却ポストでの返却は、9月8日(木)午後6時まで

※現西図書館以外の市立図書館や予約図書受取コーナー等での返却も可能です。

(5) 貸出期間の延長(現西図書館のみ)

8月18日(木)～9月8日(木)まで、通常「14日間」のところ「約40日間」に延長します。

4 なでしこ芸術文化センターの全景

(7月上旬 夕刻に撮影)



図書館2階 一般書フロア
(書架設置工事中)



ホール内観 舞台から客席

(参考) 西神中央活性化プラン



神戸が目指す これからの学校の姿

人がつながり ともに創る みんなの学校

令和4年8月 社会教育委員会議 資料

策定の背景

BE KOBE

○学校や子供たちをとりまく状況の急速な変化

社会状況

- 技術革新（ネット社会）
- グローバル化の急速な進展
- 少子高齢化の進行
- 共働き世帯の増加

学校教育環境

- GIGAスクール
- 小学校英語の教科化
- プログラミング教育
- いじめ、不登校、子供の貧困
- 体力・運動能力低下

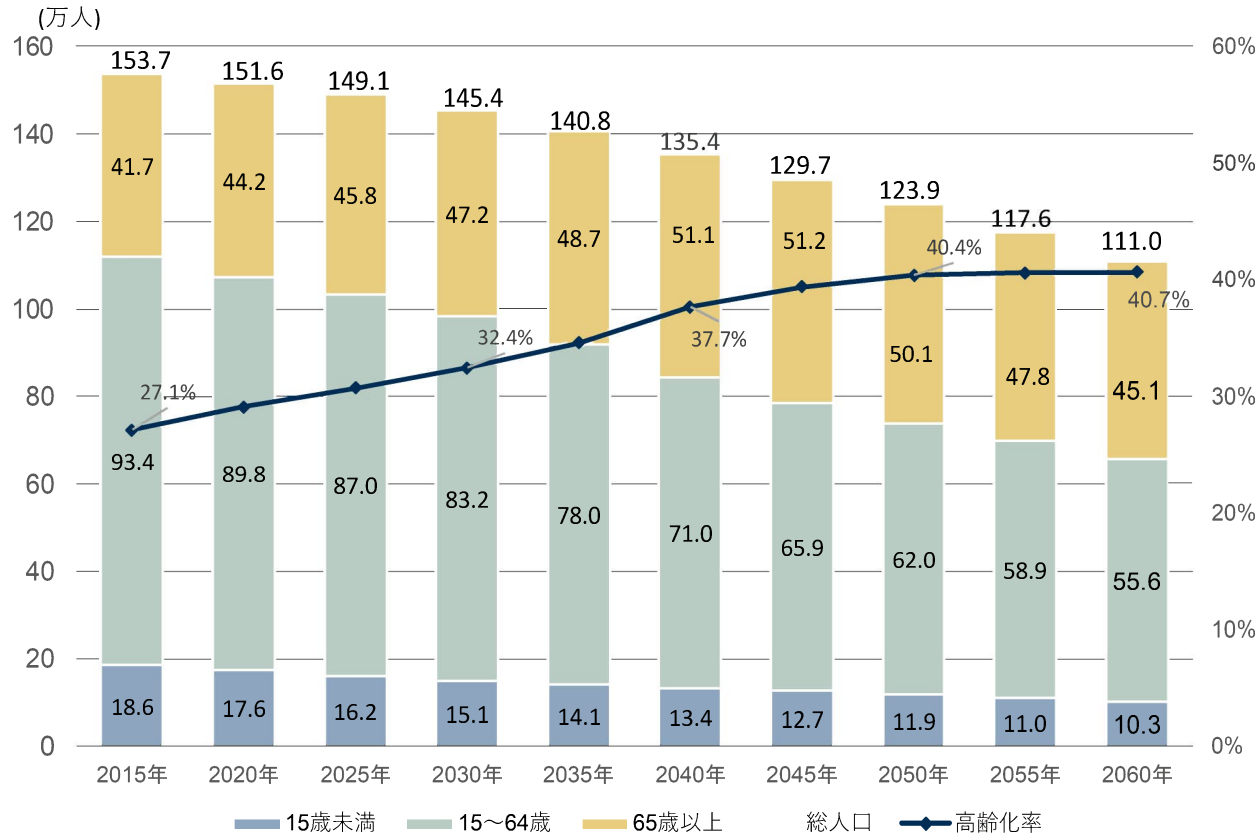
保護者や地域の皆さんとの連携をこれまで以上に深め、
地域全体で子供たちの学びや成長を支える学校づくりを進める

策定の背景（少子高齢化の進展）

BE KOBE

○神戸市の人口動態と少子高齢化の推移

- ・ 15歳未満の人口：**18.6万人（2020年）** → **10.3万人（2060年）**
- ・ 65歳以上の人口：41.7万人（2020年）→ 45.1万人（2060年）

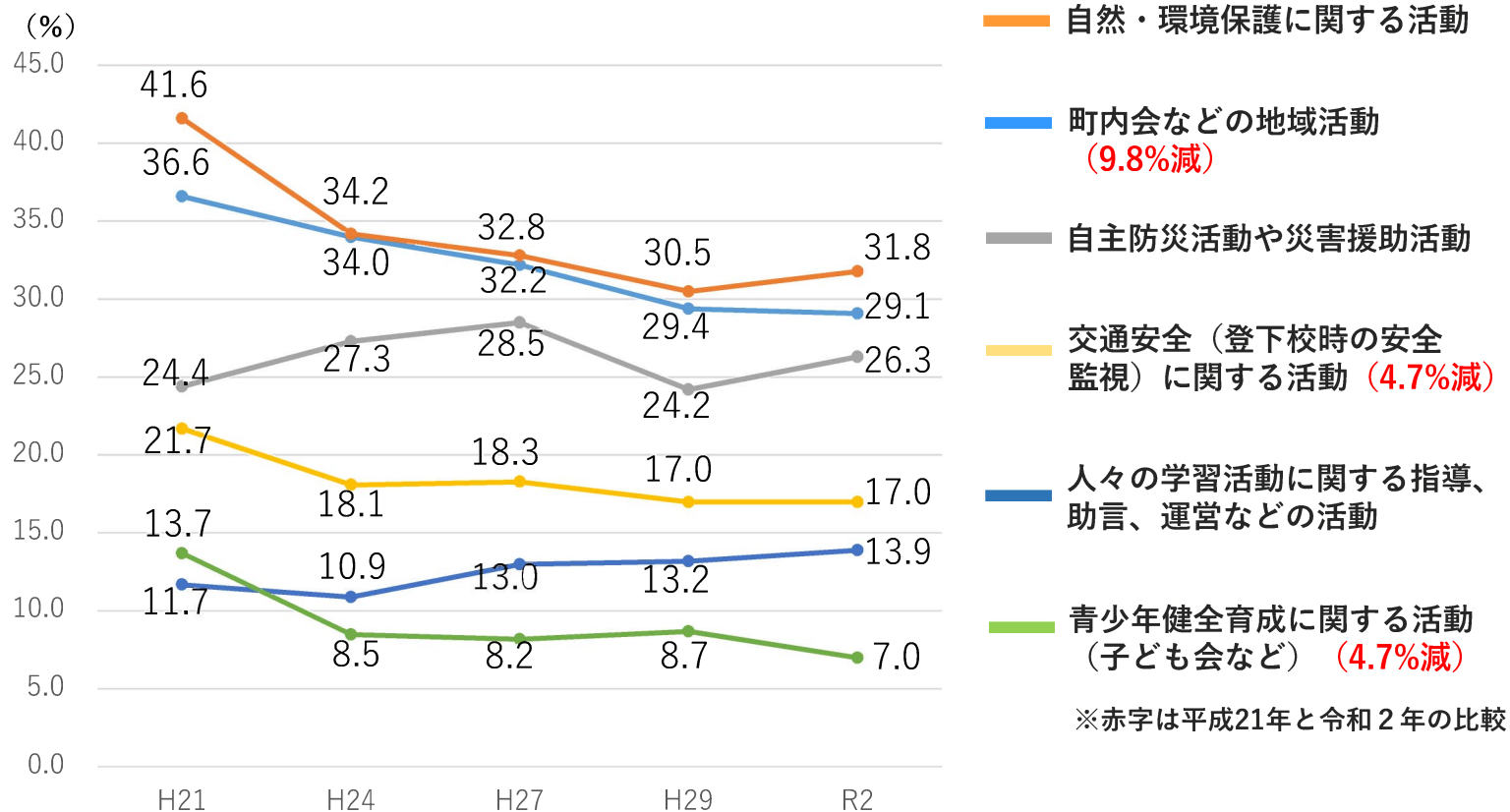


【出所】神戸2025ビジョン

策定の背景（社会への貢献意識）

BE KOBE

○人々の社会への貢献意識

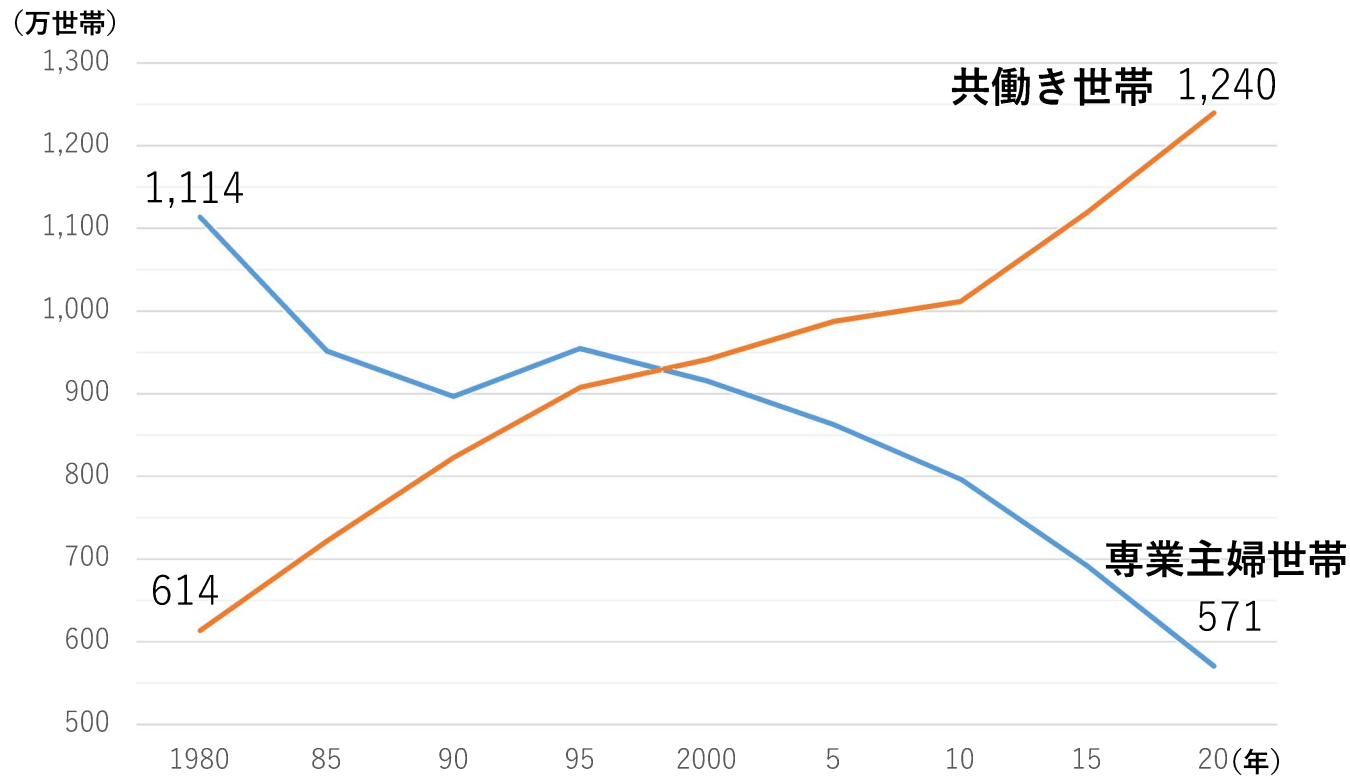


【出所】 R2.3内閣府世論調査「何か社会の役に立ちたいと思っている」と答えた者の回答項目

策定の背景（共働き世帯の増加）

BE KOBE

○共働き世帯と専業主婦世帯の推移

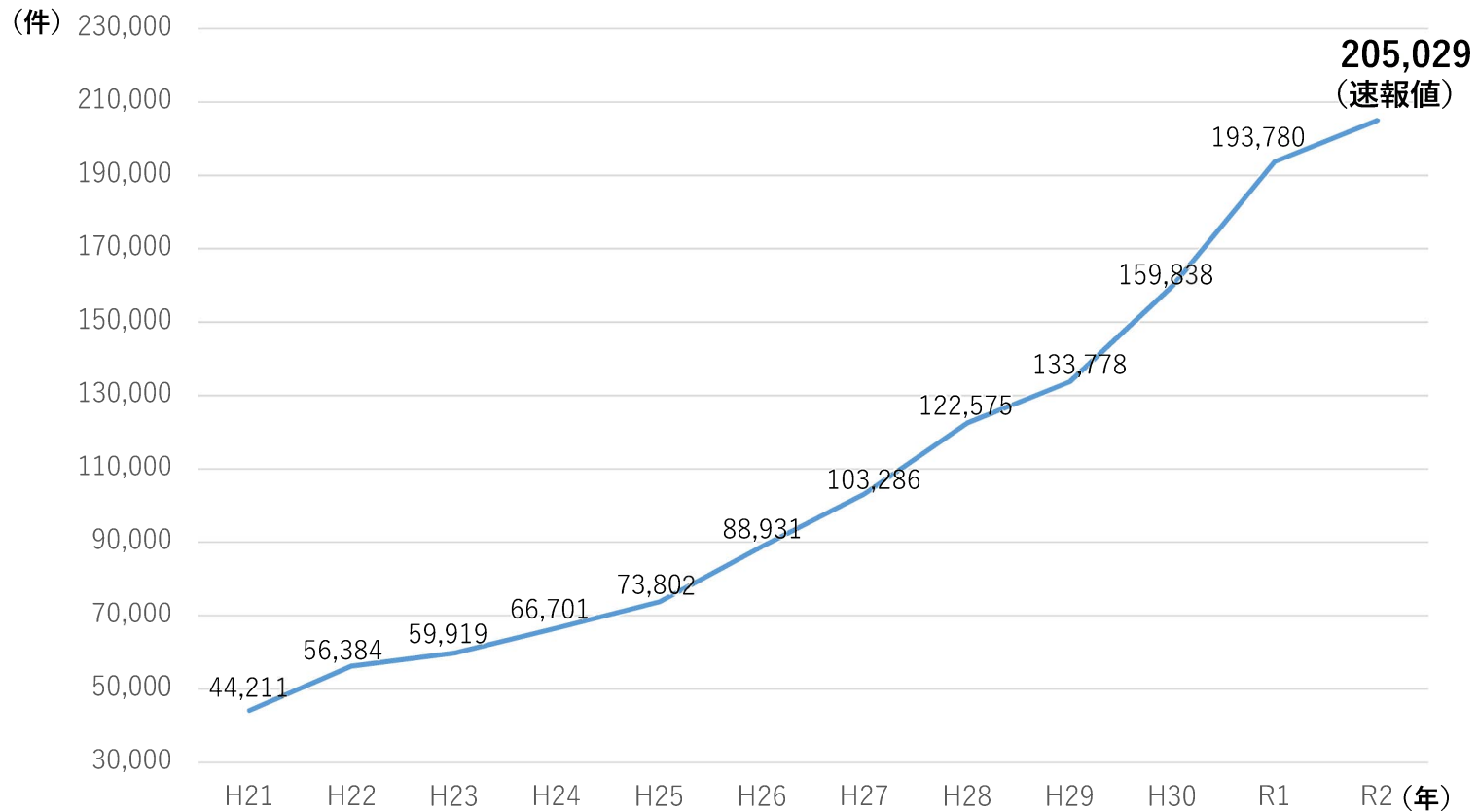


【出所】独立行政法人 労働政策研究・研修機構HPを一部改変

学校づくりの指針（児童虐待相談対応件数）

BE KOBE

○児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移

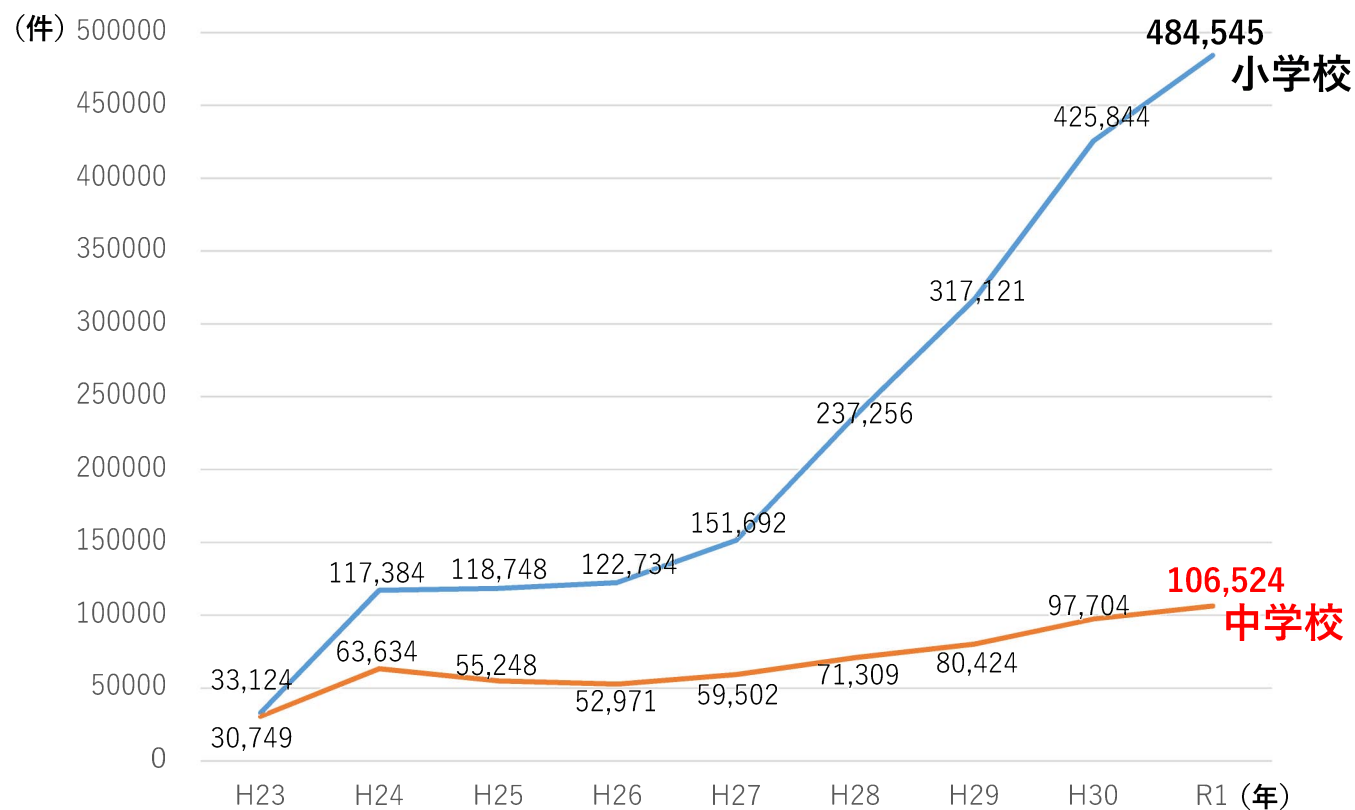


【出所】厚生労働省HPより

学校づくりの指針（いじめ認知件数）

BE KOBE

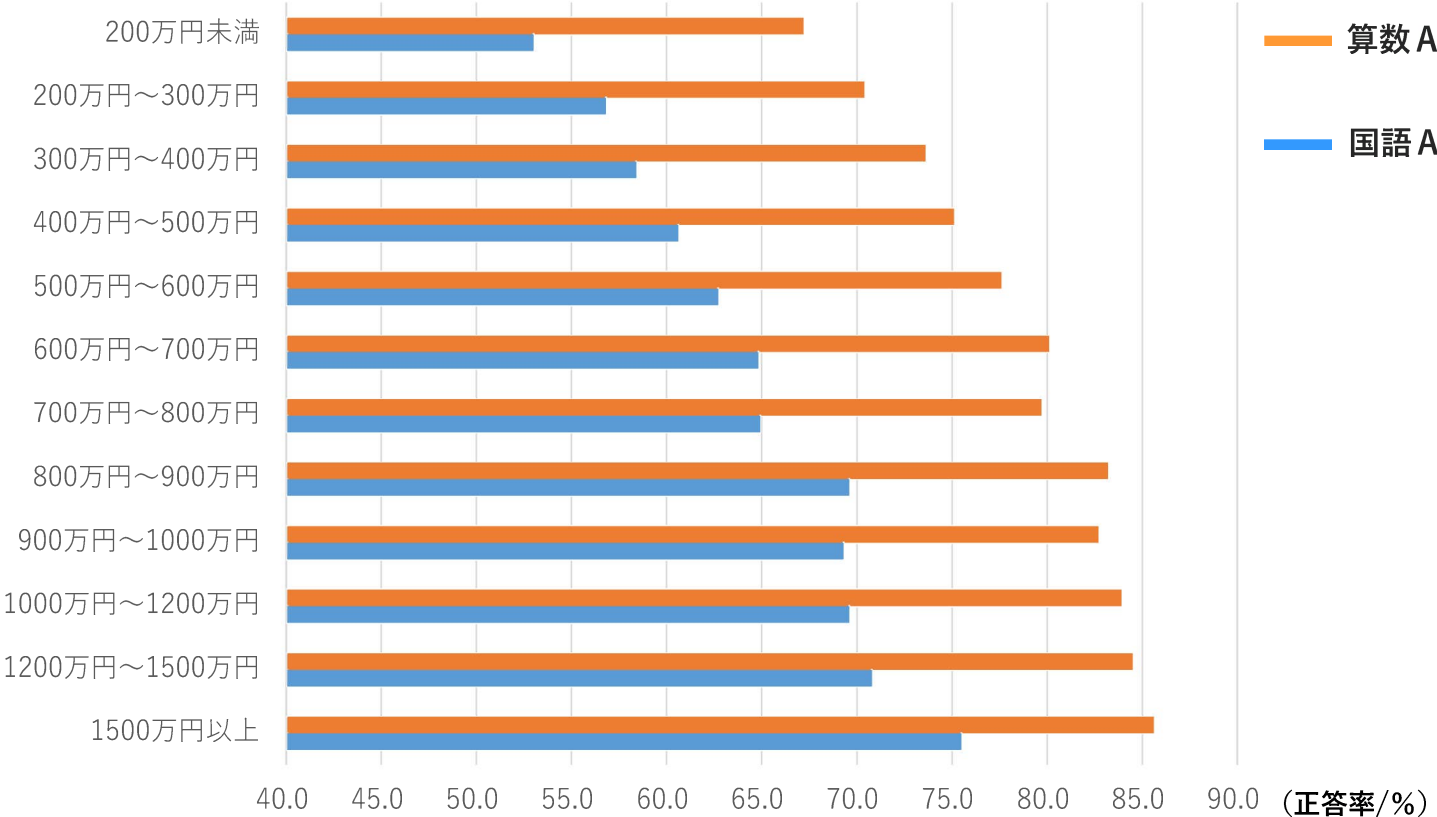
○いじめの認知件数の推移（小学校、中学校）



【出所】文部科学省「令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について」

学校づくりの指針（世帯収入と学力）

○世帯収入と学力の関係（小学校6年）



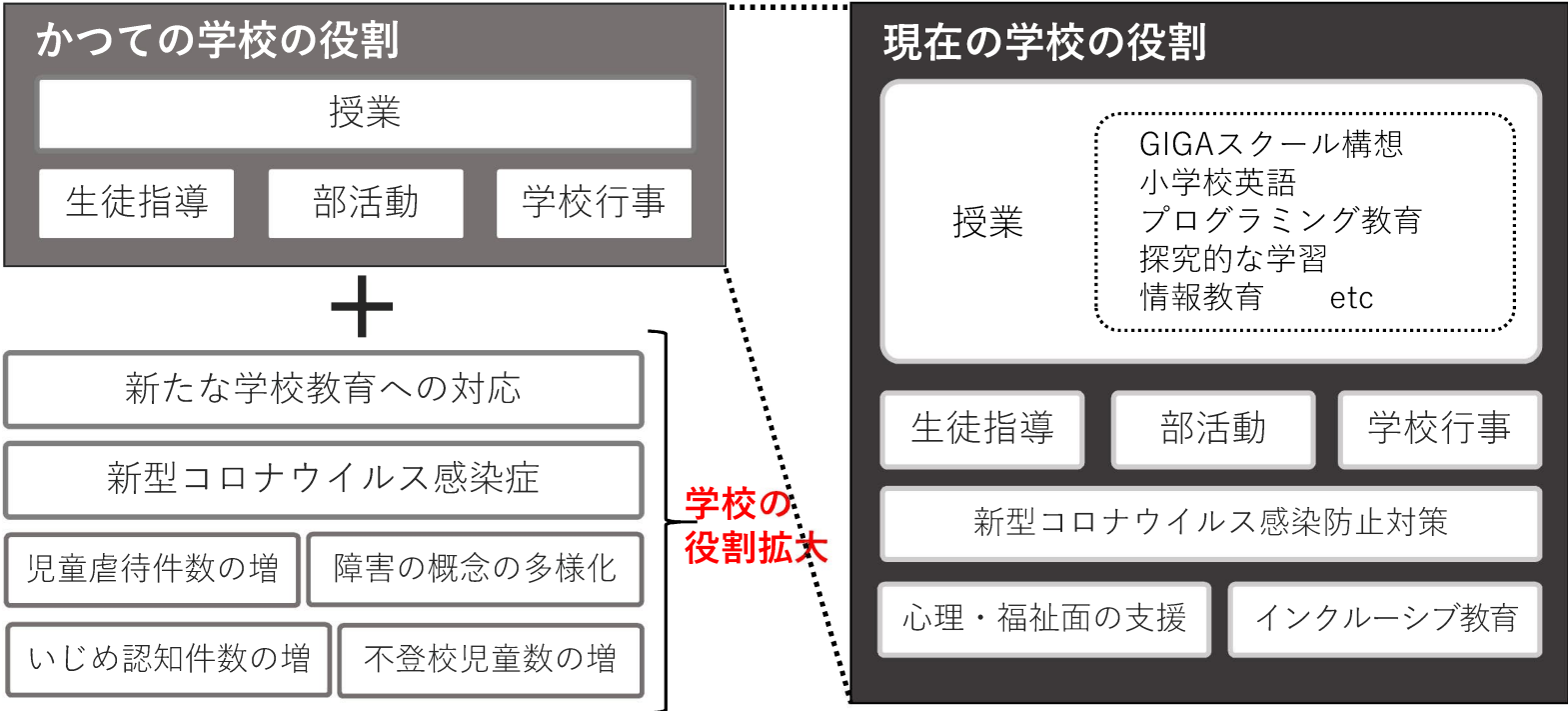
【出所】 国立大学法人お茶の水女子大学「平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える調査研究」より

学校づくりの指針（教員の時間外勤務の推移）

BE KOBE

○教員の時間外勤務の推移 ※1

S41：8時間/月 → H18：42時間/月 → **H28：小 約59時間/月
中 約81時間/月**



※1【出所】平成27年1月20日 初等中等教育分科会チーム学校作業部会資料、令和2年10月7日 中央教育審議会初等中等教育分科会資料より

開かれた学校づくりに関する有識者会議

BE KOBE

開かれた学校づくりに関する有識者会議

保護者

地域の皆さん

現場の教職員

学識経験者

学校や地域の現状・課題をもとに
目指すべき学校づくりの方向性について議論

神戸が目指すこれからの学校の姿

人がつながり ともに創る みんなの学校

学校づくりの指針（コンセプト）

BE KOBE

コンセプト

子供たちの生きる力を育むのは、人と人とのつながり。

学校、保護者、地域の皆さんのつながりの輪の中で、

地域とともに創る学校を実現し、未来の担い手となる神戸っ子を育みます。

学校づくりの指針（取組の3本柱）

BE KOBE

取組の3本柱

1 育てたい子供の姿を共有します

育てたい子供の姿を保護者、地域の皆さんと共有し、連帯感を持って子供たちの学びと成長を支えます。

2 親しみやすい学校をつくります

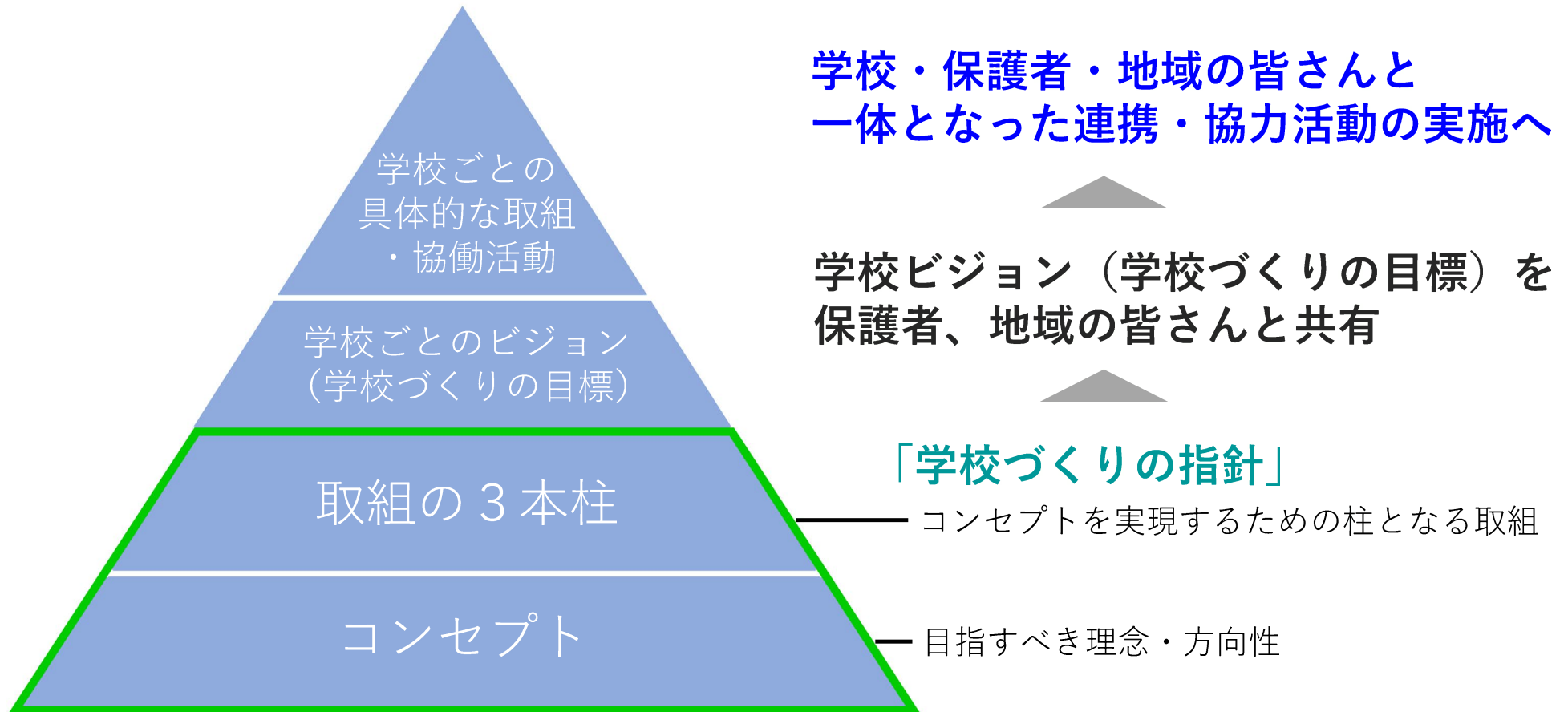
地域がつながる場として、みんなが訪れたくなる、親しみやすい学校環境をつくります。

3 子供を育む活動をともに進めます

保護者、地域の皆さんとの関わり合いと連携を深め、育てたい子供の姿の実現に向けて、ともに活動を進めます。

学校づくりの指針と取組の全体像

BE KOBE



学校ビジョンの策定ステップ（例）

BE KOBE

① 子供の実態の確認と共有

- ・ 学校の客観的なデータ（学力・学習状況調査、体力・運動能力等調査、学校評価、いじめ件数、不登校者数、健康状況等）をもとに、自校の子供たちの実態（良さや課題）を整理する。

② 子供の実態の背景にある要因の検討

- ・ 子供たちの実態の整理の後、その背景にある要因を検討する。

③ 育てたい子供の姿の設定

- ・ 子供の実態の背景にある要因を踏まえて、教育活動を通して、どのような子供に育てたいのかを明らかにし、育てたい子供像を設定する。

④ それを実現するための教育活動の設定

- ・ 育てたい子供像を実現するために必要となる教育活動を設定する。

コミュニティ・スクールの仕組み

BE KOBE

- コミュニティ・スクール：学校運営協議会を設置し、保護者・地域の皆さんと一体となった連携・協力活動を実施している学校



コミュニティ・スクール
推進ガイドラインを策定

学校・保護者・地域住民のつながりの中で子供たちを育成

地域とともに創る学校を目指して

BE KOBE

